

我が家の防災メモ 避難場所や緊急連絡先を調べてメモしておきましょう

指定避難場所	
指定避難所	
緊急連絡先	



お名前	電話番号	生年月日	血液型	学校・勤務先／電話番号	持病・常備薬など

困った時の対応・連絡先

和気町内の緊急連絡先

和気町役場	0869-93-1121
佐伯庁舎	0869-88-1101
東備消防組合消防本部	0869-64-1119
東備消防組合東部出張所	0869-84-9919
東備消防組合北部出張所	0869-88-9919
備前警察署	0869-63-0110

消防 Fire Department

119 火が発生した！大ケガをした！

警察 Police Department

110 事件・事故がおきた！

災害用伝言ダイヤル（安否確認）

171

録音するときは **1**

再生するときは **2**

※ガイダンスが流れるので、その指示に従って落ち着いて録音・再生してください。

ライフライン

電気のトラブルは	中国電力ネットワーク 岡山東ネットワークセンター	0120-415-256
加入電話・INS ネットの故障などについて	受付時間：24時間受付（音声ガイダンスによる録音受付） NTT 西日本（株） ひかり電話・携帯電話・PHSからは	局番なしの「113」 0120-444113
上下水道のトラブルは	和気町 産業建設部 上下水道課 和気郡和気町尺所 555	0869-93-1150

和気町 総務部 危機管理室
作成：2023年2月

〒709-0495 岡山県和気郡和気町尺所555
TEL：0869-93-1121(代表) FAX：0869-92-0667(代表)
URL：https://www.town.wake.lg.jp/

和気町 ハザードマップ

Wake Town Natural Disaster Hazard Map



いつ起きるかわからない
災害から命を守るために
今日から準備を始めましょう！

和気町



災害に強いまちづくりの実現に向けて

近年、全国各地で豪雨災害をはじめ、地震などの自然災害が相次いで発生し、甚大な被害をもたらしています。東日本大震災以降では、震度7を2度観測した2016年(平成28年)熊本地震、そして2018年(平成30年)には西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」など、これまでの想定を超えた自然の猛威が各地を襲いました。

こうしたこれまでの経験を基に、和気町ではいつ起こるか分からない災害の発生に備えて、対策の強化を図っておりますが、災害が発生した場合、町や防災関係機関の対応だけでは立ち向かうことはできません。被害を最小限にとどめるためには、自助・共助を、町民の皆さま一人ひとりに心掛けていただき、実践することが大切です。

このハザードマップは、地震・洪水・土砂災害に関する情報のほか、災害情報の入手方法やマイ・タイムラインの作成など、より実用的な内容となっております。ご家庭のみならず地域や職場など、あらゆる場面でご利用いただき、災害時に備えていただきたいと思ひます。



2016年(平成28年)「熊本地震」



2018年(平成30年)「平成30年7月豪雨」

目次

見出し	内容	ページ
はじめに	和気町ハザードマップについて	1-2
地震	和気町で想定される地震	3-4
	日頃から地震に備えよう！	5-6
洪水	台風や豪雨に注意しよう！	7-8
土砂災害	大雨、地震による地盤のゆるみに注意しよう！	9-10
ハザードマップ	ハザードマップを確認しよう！	11-12
	索引図	13-14
	ハザードマップ	15-36
災害への備え	想定し得る最大規模の大雨に備えて	37-38
	指定緊急避難場所・指定避難所一覧	39-40
	避難所での過ごし方	41-42
マイ・タイムライン	非常持出品、備蓄品/災害情報の入手先	43-44
	マイ・タイムライン	45-46

和気町ハザードマップについて

ここ和気町では、近年大規模な自然災害は発生していません。しかし、町域の7割以上を占める山地部では、近年多発している集中豪雨等による土砂災害発生リスクが高くなっています。一方で平地部では、岡山三大河川の1つである吉井川を筆頭に、金剛川、初瀬川、王子川など、吉井川支流沿いに市街地が形成されており、ひとたび洪水が発生すれば甚大な被害をもたらす恐れがあります。

災害はいつ、どこで、どの程度の規模で発生するかわかりません。「その日」は数年後、数十年後、あるいは明日かもしれません。

自分や大切な人を守るためには、起こりうる災害を理解し、日頃から適切な備えをしておく必要があります。

このハザードマップには、さまざまな防災に関する情報を掲載していますので、あらかじめ目を通していただき、みなさん一人ひとりの災害に対する日頃の備えに役立ててください。



撮影地点:和気町 金剛橋付近

1990年
(平成2年9月)

平成2年
台風第19号

提供:
国土交通省
岡山河川
事務所



撮影地点:和気町 田賀 地内

2018年
(平成30年7月)

平成30年
7月豪雨

1 家の位置を確認し、避難経路を考えよう

あなたの家の場所をマップに書き込み、最寄りの避難場所・避難所を複数選びましょう。



2 実際に避難場所・避難所まで歩いてみよう

地図で選択したそれぞれの避難場所・避難所までの経路を確認しましょう。また、避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。



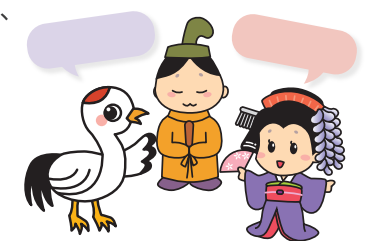
3 家の周りの災害の危険性を確認しよう

あなたの家は、土砂災害による警戒区域もしくは、浸水が想定されている地域ですか？家の周りにブロック塀などの危険な場所はありませんか？



4 災害や避難について、話し合ってみよう

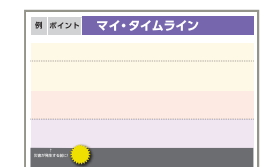
あなたの家だけでなく、家族の職場や学校、よく行く場所などについても避難所や危険性を確認しましょう。



マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近しているときに自分や家族が「いつ」「何をやるのか」をあらかじめ決めておく計画表のことです。いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように個人や家庭の実情に合ったそれぞれのマイ・タイムラインを作成しておきましょう。

詳細は45-46ページへ！





地震 和気町で想定される地震

地震について学ぼう

岡山県内で被害が想定されている南海トラフ巨大地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域として、概ね100~150年間隔で繰り返し発生してきた大規模な地震です。その発生確率は、今後10年以内で「30%程度」、30年以内では「70~80%」、40年以内では「90%程度」と予測されています。

和気町内においても、広範囲で甚大な被害が予想されていますので、引き続き十分な警戒が必要です。

南海トラフ巨大地震 想定震源域(内閣府)



2016年(平成28年)熊本地震

2016年(平成28年)4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード6.5(最大震度7)の地震が発生し、その約28時間後の4月16日1時25分、同じ熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3(最大震度7)の地震が発生し、地震活動域は熊本県阿蘇地方や大分県中部にまで拡大しました。最大震度1以上を観測する地震の回数は最初の震度7の地震から5か月後までに4,000回を超えるなど、地震活動は広域で極めて活発となり、熊本県を中心に甚大な被害が生じました。

死者(災害関連死)	272名
負傷者	2,808名
住家被害全壊	8,668戸

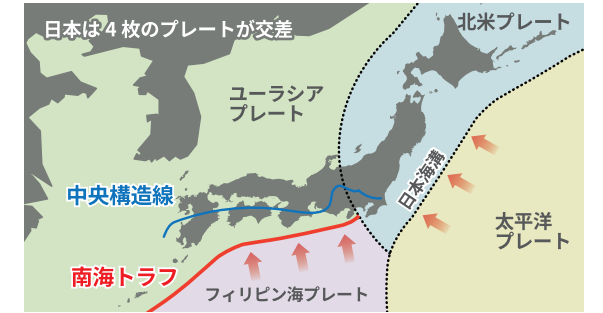
出典/消防庁応急対策室 平成30年10月15日13:00時点集計



地震大国日本:海溝(プレート境界)型と内陸直下型、2種類の地震

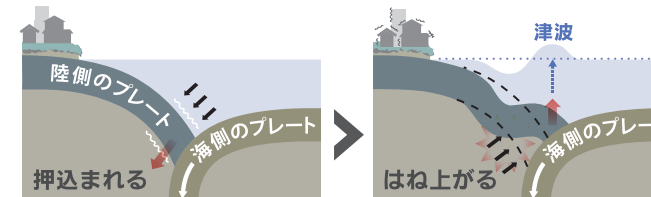
日本列島は、4つのプレートが周囲を取り囲む地震密集地です。日本で地震が多いのは、これらのプレートがぶつかり押し合うことによりエネルギーの破壊が起こるためであり、世界中で発生する地震のおよそ10%が日本列島周辺で発生しています。

日本列島周辺では、阪神・淡路大震災(1995年)以降は「地震の活動期」に入っており、今後は高い確率で発生が予想されている南海トラフ巨大地震(海溝型)とその活動の前後で起こる活断層地震(内陸直下型)への警戒と備えが重要です。



海溝(プレート境界)型地震

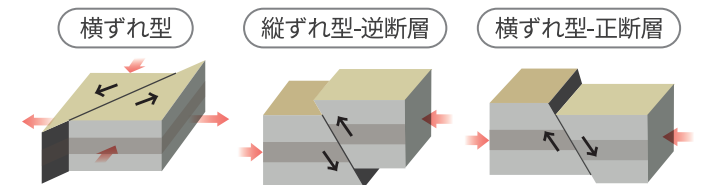
関東大震災、十勝沖地震、東日本大震災など



海側プレートが陸側プレートの下に潜り込むことで、境界にひずみエネルギーが溜まり、これが限界に達したときにプレートが元に戻る力ではね上がり、地震が起こります。(押し込まれるときにも内陸側で地震が起きます)

内陸直下型地震

阪神・淡路大震災、新潟中越沖地震、芸予地震など



地下の岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで、内部にひずみのエネルギーが溜まり、これが限界に達したときに、ある面(活断層面)を境にずれ動き直下で地震が起こります。海溝に沈むプレート内でも同じ現象が起こります。

マグニチュードと震度について

地震を表す「マグニチュード(M)」は、「地震エネルギーの大きさ(規模)」を、「震度」は「地震のゆれの強さ」を示します。

「マグニチュード=エネルギー」が大きくても、震源が遠い、深い場合は「震度=ゆれの強さ」が小さくなります。逆に「マグニチュード」が小さくても、震源が近い、浅い場合は「震度」が大きくなります。



南海トラフ巨大地震による最大の被害想定を知ろう

和気町では大部分が震度5強です!

揺れによる建物被害	全壊 1棟
	半壊 114棟
液状化による建物被害	全壊 5棟
	大規模半壊 63棟
	半壊 115棟

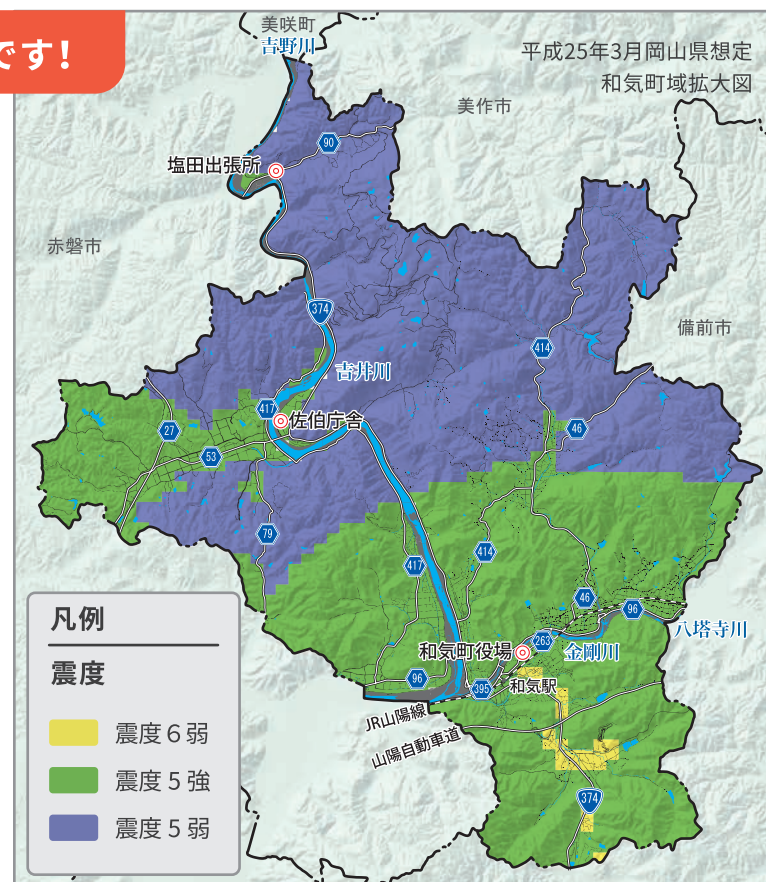
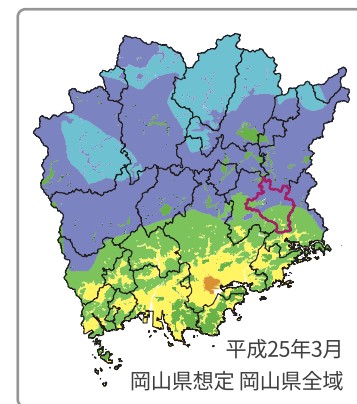
最大震度 6弱

震度は、地震の揺れの大きさを表した指標値

凡例

震度

- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4



凡例

震度

- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱

液状化危険度分布図

液状化とは、地震のゆれによって砂粒が相互にかみ合っていた状態はずれ、土が泥水化する現象です。埋立地や河口など水分をたくさん含んだ砂質の地盤で発生する現象で、噴砂や地盤沈下を伴います。

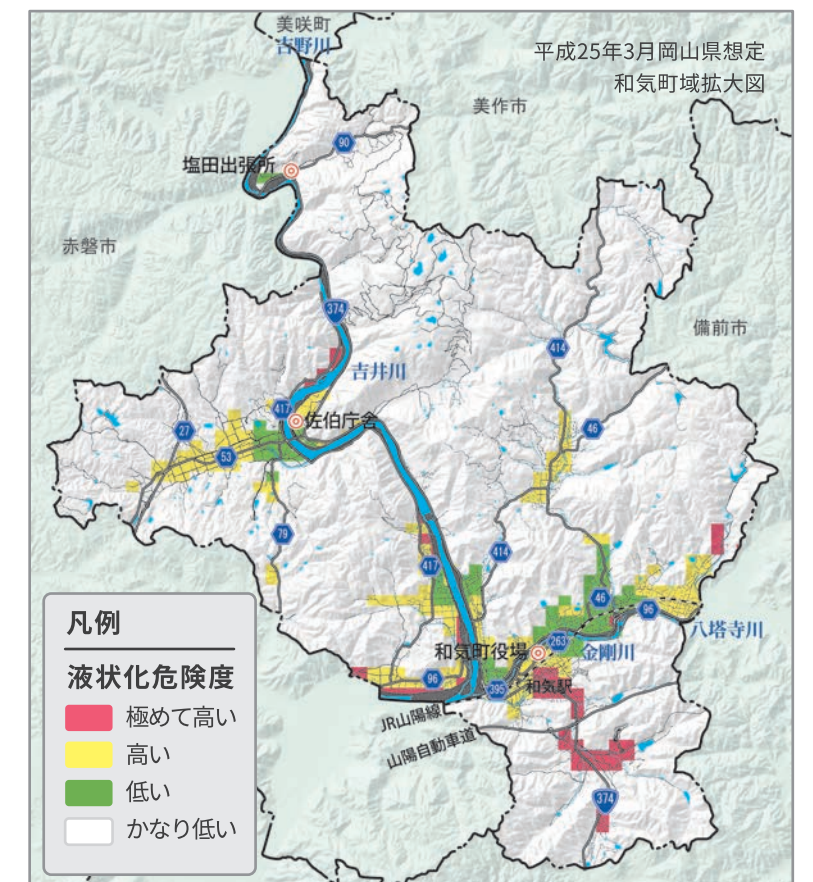
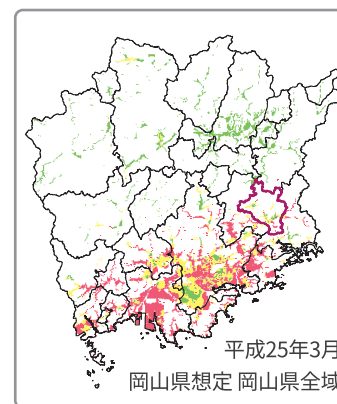
平成23年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)では、震源域から遠く離れた東京湾岸でも広域に発生し、巨大地震では遠方でも発生することが分かっています。液状化危険度の判定には、PL値を用いました。

PL値とは、その地点での液状化の危険度を表す値です。推計は250mメッシュ単位で行いました。

凡例

液状化危険度

- 極めて高い
- 高い
- 低い
- かなり低い



凡例

液状化危険度

- 極めて高い
- 高い
- 低い
- かなり低い



地震 日頃から地震に備えよう!

震度 5弱 大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。

耐震性の低い木造建物は、壁などに軽微なひび割れ・亀裂が入ることがある。

固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは、倒れることがある。

亀裂や液状化、落石、がけ崩れが発生することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。

震度 5強 物につかまらなると歩くことが難しい。

耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、壁・梁・柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。

棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。

補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 6弱 立っていることが困難になる。

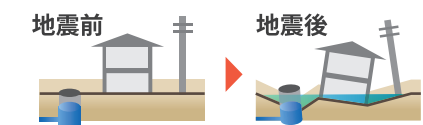
耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。

壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

液状化の発生も考えておきましょう

液状化が発生すると、建物の倒壊や道路の沈下が起こり、通行が難しくなる場合があります。液状化が発生する可能性がある場所をあらかじめ確認しておき、より安全に避難できるルートを考えてみましょう。



震度 6強 はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。

耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。

固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

震度 7 動くこともできず、飛ばされることもある。

耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、倒れるものが増える。

広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。

大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

P.11 ~ P.38

和気町では大部分が震度5強です! (最大震度6弱)



まずやること

シェイクアウト

低い姿勢で、頭を守って揺れがおさまるのを待ちましょう。



避難時の注意 - あわてず、冷静に

すばやく火の始末

「火を消せ!」とみんなで声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を消しましょう。

周りに気を付けよう

塀が倒れたり、火災が発生します。ガラスや瓦などの落下物に注意しましょう。

余震に注意

余震が繰り返すことがあります。あらかじめ危険の少ない避難経路を調べておきましょう。



いろいろな場所での対応の仕方

地震から命を守るために、いざという時のとっさの避難行動や、安全でスムーズに避難するための方法を日頃から考えておきましょう。

家の中



- 頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- ガス器具、ストーブなどの火を消しましょう。(元栓を締める)
- 電気ブレーカーを落としましょう。

職場・学校



- カバンなどで頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- 本棚などの転倒に注意しましょう。

店舗・スーパー等



- 頭を保護し、ショーケースなどから離れましょう。
- 壁や太い柱に身を寄せましょう。あわてて出口に殺到せず、係員の指示に従いましょう。

人が大勢いる場所



- あわてて走り出すと危険です。係員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。

エレベーター



- すぐに各階のボタンをすべて押し、停止した階でおりましょう。
- 閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めましょう。

狭い路地



- 狭い路地、塀ぎわでは瓦などが落ちてきたり、建物や塀、電柱が倒れてきたりするのを遠ざかりましょう。

自動車の運転中



- 道路の左側が空き地に車を止め、エンジンを止めましょう。
- 警察官が交通規制を行っている場合は、その指示に従いましょう。
- 車を離れるときはキーをつけたままにし、ドアをロックしないでおきましょう。

バスや電車の中



- 急停車することがあるので、つり革や手すりなどにしっかりとつかまりましょう。
- 途中で止まっても勝手に行動せず、乗務員のアナウンスに従って落ち着いた行動を取りましょう。

まずやること

シェイクアウト

低い姿勢で、頭を守って揺れがおさまるのを待ちましょう。

Shake Out

DROP! **COVER!** **HOLD ON!**

まず低く 頭を守り 動かない

避難時の注意 - あわてず、冷静に

すばやく火の始末 周りに気を付けよう 余震に注意

「火を消せ!」とみんなで声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を消しましょう。

塀が倒れたり、火災が発生します。ガラスや瓦などの落下物に注意しましょう。

余震が繰り返すことがあります。あらかじめ危険の少ない避難経路を調べておきましょう。

家具の転倒防止対策

家具の下敷きにならないように固定しましょう

地震によるけがを防止するため、各家庭において対策を行うことが大変重要です。

- L字金具 ●チェーン固定
- 突っ張り棒
- 家具転倒防止板
- 粘着マット ●開き戸固定
- ガラス飛散防止フィルム

水・食料の備蓄

3日間をしのぐ

震災直後は、冷蔵庫の中をはじめ、台所周りに買い置きしている普段の食材・飲料水を工夫して食べましょう。

飲料水は、1人で1日3リットル
3リットル×家族分(4人)×3日間
=36リットル(2Lペットボトル18本分)

詳しくは P.43 へ



洪水 台風や豪雨に注意しよう！

洪水の大元は？

前線の停滞や台風の襲来によって数時間にわたり大量の雨が降る集中豪雨、一時的に激しい雨が降るゲリラ豪雨に注意が必要です。

1 前線の停滞

日本付近では、6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞して、雨が降り続きます。



2 台風の接近

台風は暴風と大雨に注意が必要です。台風の規模によっては、広範囲にわたって甚大な被害をもたらします。



3 ゲリラ豪雨

大気の状態が不安定な時、積乱雲が発達し、場合によっては線状降水帯が発生することにより局地的に強い雨が降ります。



ゲリラ豪雨の前兆

- 真っ黒い雲が近づいてくる。
- 雷の音が聞こえてくる。
- 急に冷たい風が吹いてくる。

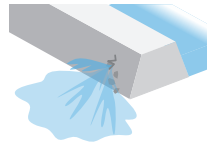
ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

P.11~ P.38

洪水が起こる原因は？

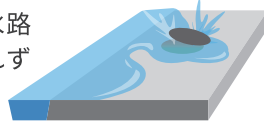
1 堤防の決壊で起こる「外水氾濫」

河川の流れを抑制している堤防が増水により越水・浸透・洗掘・亀裂等により決壊し、市街地に水が流れ込むことをいいます。



2 排水機能が追いつかず起こる「内水氾濫」

集中的な豪雨等により側溝や用水路などの排水機能が雨水に耐え切れず浸水することをいいます。



	吉井川		金剛川	
	津瀬	佐伯	尺所	吉永中
避難判断水位 避難情報の発表目安となる水位	8.50m	6.60m	3.10m	2.80m
氾濫危険水位 河川氾濫のおそれがある水位	9.60m	8.80m	3.40m	3.30m

最新の災害情報を入手しましょう

P.44

大雨時の災害リスクを知る

大雨時に想定される流域での災害リスクを知っておくことは重要です。また、ダム情報や水位情報により河川の状況を知ることができます。



ダムの放流について

- 雨がたくさん降ったり、台風などで川の水量が増加したとき、ダムから放流する場合があります。放流または河川の水位が上昇する際には、放流開始の約15分～30分前に各ダムの警報局よりサイレンを鳴らし、周辺の皆さんへ周知します。

和気町を流れる河川の 上流部に位置するダム

- ・日笠ダム
- ・苦田ダム
- ・八塔寺川ダム



危機管理型水位計について

危機管理型水位計は、洪水時の水位観測に特化した水位計で、一定の水位を超えた時に、観測モードに切り替わり、10分以内毎に水位データを観測します。危機管理型水位計は、一般財団法人河川情報センターが提供する「川の水位情報」で閲覧することができます。



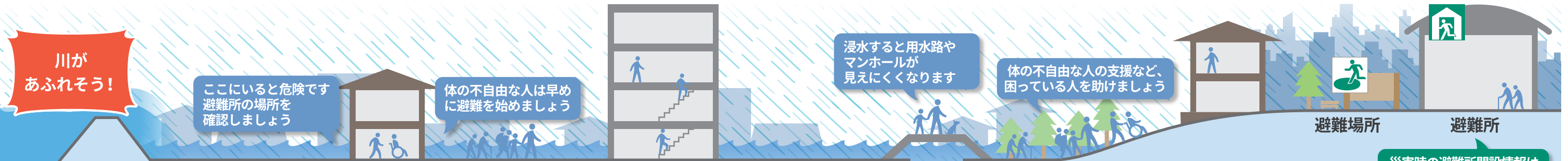
川の水位情報

ため池の増水や決壊に注意しよう！

大雨や地震によりため池が増水したり決壊することにより下流域に被害を及ぼすことも考えられます。詳しくはおかやま全県統合型GISをご確認ください。



おかやま全県統合型GIS



川に近づかない！

ライブカメラの活用

大雨・洪水時の河川は水位が短時間で急上昇するため、気づいてからでは逃げられません。大変危険なので、絶対に近づかないでください。

河川の状況はライブカメラ画像で確認しましょう。



国土交通省川の防災情報

適切な避難方法を

洪水時の避難方法

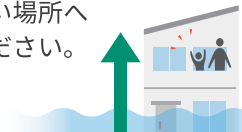
1. 浸水しない地域の親戚・友人宅へ避難
2. 近くの避難所へ避難
3. 垂直避難(高いところへの避難)



屋内安全確保

浸水がすでに始まっている場合は今いる建物内で垂直避難

浸水が始まっているときに外へ移動するのは大変危険です。少しでも高い場所へ避難してください。



避難の注意

用水路・マンホールは危険！

浸水すると用水路やマンホールが見えにくくなります。また、水が吹き出す場合があります。大変危険です。



避難の時は足元注意！

浸水している場所を歩くときには、棒などで足元をよく確認し、用水路や側溝などに注意して避難しましょう。水の深さが膝を超えると歩行が難しくなります。

- (目安)
- 大人男性 …… 水位 70cm
 - 大人女性 …… 水位 50cm
 - 子供 …… 水位 20cm



アンダーパスに注意しよう！

アンダーパスとは、交差する鉄道や道路などの下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっている道路のことをいいます。地形的に雨水が集中しやすい構造となっています。大雨、洪水時には自動車での進入はやめましょう。





土砂災害 大雨、地震による地盤のゆるみに注意しよう！

急峻な山々に囲まれた和気町では、風水害や地震による土砂災害のおそれがあります。近年の土砂災害の状況を踏まえ、国では平成26年11月に「土砂災害防止法」を改正し、国民の生命および身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにした上で、警戒避難体制の整備などの対策を推進しています。

近年の気象状況を踏まえ、土砂災害についての理解を深め、発生に備えてスムーズな避難を行うことが防災・減災につながります。

山間部
山崩れに注意が必要です。山崩れは、集中豪雨だけでなく地震によっても発生します。

急傾斜地
がけ崩れに注意が必要です。がけ崩れは、豪雨や地震によって突然発生します。

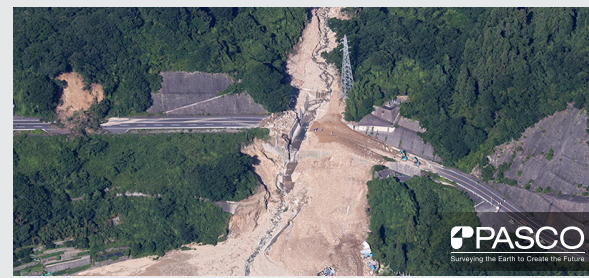
下流部
山間部の集中豪雨に注意が必要です。豪雨によって山崩れが起きると、土石流の危険があります。

2018年(平成30年)7月豪雨の土砂災害

7月5日から本州付近に停滞する梅雨前線が活発になり、九州から東北にかけて、広範囲で断続的に非常に激しい記録的豪雨となり、6日夕方から8日までの降雨記録では、48時間降雨量は124地点、72時間降雨量では122地点で観測史上1位を更新しました。土砂災害発生件数は、1道2府29県で2,581件に及び、土石流等791件、地すべり56件、がけ崩れ1,734件の甚大な被害となりました。

死者	237名	住宅被害	全壊 6,767戸 半壊 11,243戸 一部損壊 3,991戸
負傷者	432名		

出典 | 降雨記録：気象庁 平成30年7月13日発表
被災件数：内閣府 平成31年1月9日17:00時点集計



日本に土砂災害が多いのは？ 日本列島の地形や地質・気象などの自然条件に大きな原因があります。

- 地形や地質：山地が多く平地が少ない・もろい地質・急流な川
- 気象などの自然条件：大雨 / 台風・集中豪雨・大雪・地震・火山の噴火など

主な前兆現象 土砂災害が起こる多くの場合、事前に危険と思われる変化が見られます。よく注意してください。

<p>川がにごった 川がにごり、木の枝などが混ざりはじめた</p>	<p>水位が下がった 雨が降り続けているのに川の水位が下がった</p>	<p>亀裂が走った 山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った</p>	<p>石が落ちてきた 山の斜面から石が転がり落ちてきた</p>
<p>湧き水が止まった 今まで枯れたことのない湧き水が止まった</p>	<p>湧き水が増えた 湧き水の量が急に増えた</p>	<p>井戸水がにごった 普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた</p>	<p>地鳴りがする 地鳴りの音が聞こえてきた</p>

3つの土砂災害 発生のしくみや土砂の働き方から、大きく「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」があります。

<p>1 がけ崩れ (急斜面地の崩壊) 傾斜した土地が崩壊する自然現象。突然崩れ落ちるため、ひとたび人家を襲うと逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。</p>	<p>2 土石流 山肌が崩落して生じる土石などや、溪流の土石などが一体となって流下する自然現象。その流れの速さは、時速20km～40kmで、一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。</p>	<p>3 地すべり 地面は何層もの地層が積み重なってできていますが、大雨が降り続けると地下に水がしみこみ、水を通しにくい粘土層の上に地下水がたまりやすくなります。この地下水の力に持ち上げられて、粘土層を境に上の地面がゆっくりとすべり落ちます。</p>
--	---	--

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	土砂災害が発生した場合に、建物が壊れて命や身体に著しい危害が生じるおそれのある区域
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	土砂災害が発生した場合に、命や身体に危害が生じるおそれのある区域

ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう P.11 ~ P.38

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン) 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

外がすでに危険なときは、斜面と反対側の2階で屋内安全確保！むやみに外に出ないようにしましょう

高い所に避難しましょう

災害が発生する前に行動しましょう

逃げ遅れた場合は、斜面と反対側の2階で安全確保しましょう

ため池の決壊に注意が必要です

がけ崩れが起こった！

ため池は大丈夫？

早めに避難しましょう

避難場所 避難所

雨 / 土砂災害警戒情報に注意

土砂災害の多くは雨から起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら注意が必要です。土砂災害警戒情報は、土砂災害の危険性が高まった際、岡山県と岡山地方気象台が発表する避難に有効な情報です。早めの避難を行いましょう。

20 ミリ

土砂災害警戒情報

逃げ方は立ち退き避難が基本です

安全な場所まで立ち退き避難
レッド・イエローゾーンは崩れる前に早期の避難を！
※土砂災害警戒情報は避難の判断合図

直角に逃げましょう！
土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。

屋内安全確保

土砂災害がすでに起こってしまい、逃げ遅れた場合は建物内の高い場所へ避難

建物の2階以上で斜面とは反対側の部屋など、屋内の少しでも安全な場所へ避難しましょう。特に土石流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上階に避難しましょう。大雨が上がっても油断せず注意が必要です。

知っていますか？

ため池の決壊による、土砂災害の危険性

短時間に激しく降る大雨(ゲリラ豪雨)によりため池の水位が上がったり、上流部での土砂災害による土砂の流入によりため池が決壊する可能性もあります。

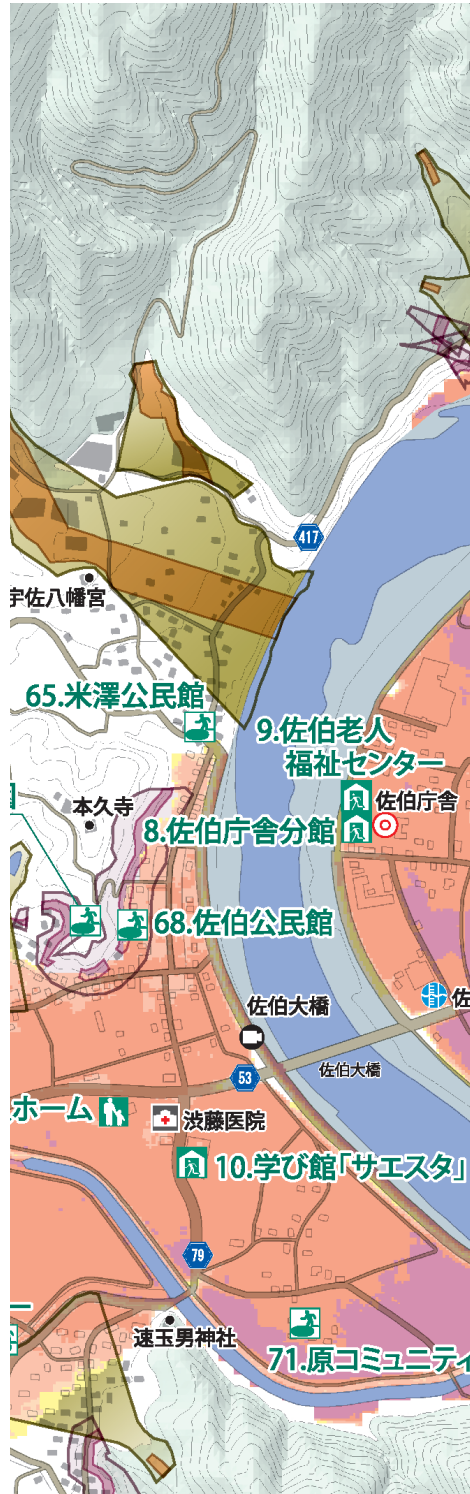


ハザードマップ ハザードマップを確認しよう！

自分の住む地域の被害想定を知る

ハザードマップでは、地震や大雨により土砂災害や洪水が起きたときに想定される被害を確認することができます。自分や大切な人たちが普段いる場所の被害想定を確認し、状況に応じた避難をしましょう。

当てはまる にチェック



浸水想定区域外でも、道路の冠水や内水氾濫が発生する可能性があるので注意しましょう。

山沿いは要注意！

土砂災害警戒区域

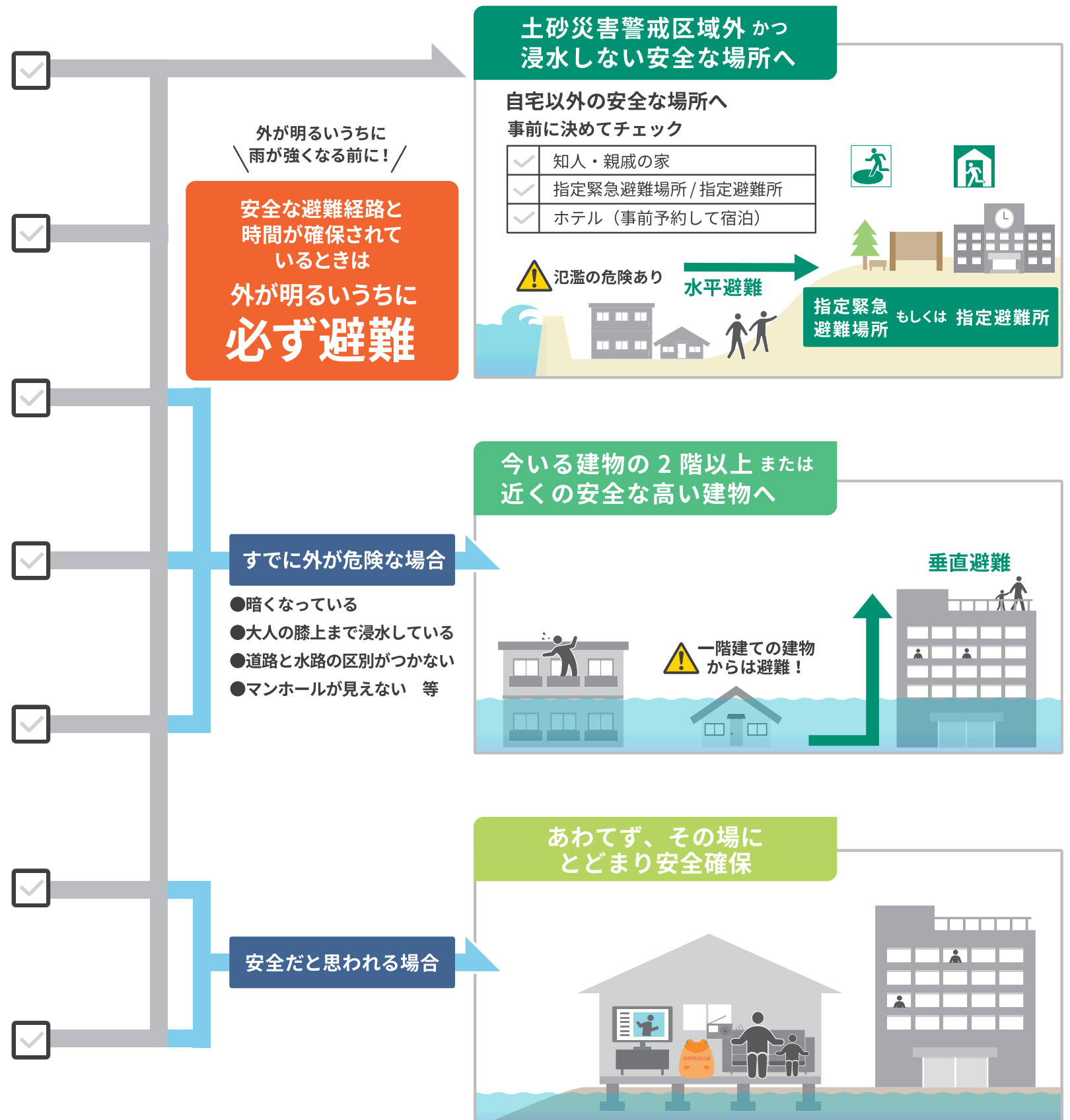
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン) 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

洪水浸水想定区域 (浸水の深さ)	2階の屋根以上が浸水	5.0~10.0m 未満
	2階の屋根まで浸水	3.0~5.0m 未満
	2階の床下まで浸水	1.0~3.0m 未満
	1階の床上まで浸水	0.5~1.0m 未満
	1階の床下まで浸水	0.5m 未満
	浸水しない	

正しい避難行動を確認しよう！

「いつ」「どこに」「どうやって」避難する？

土砂災害警戒区域や浸水の深さに応じてどのような避難行動をとるか、事前に決めておくことが大切です。「いつ」「どこに」「どうやって」避難するのか、家族で話し合っておきましょう。



ハザードマップ 索引図

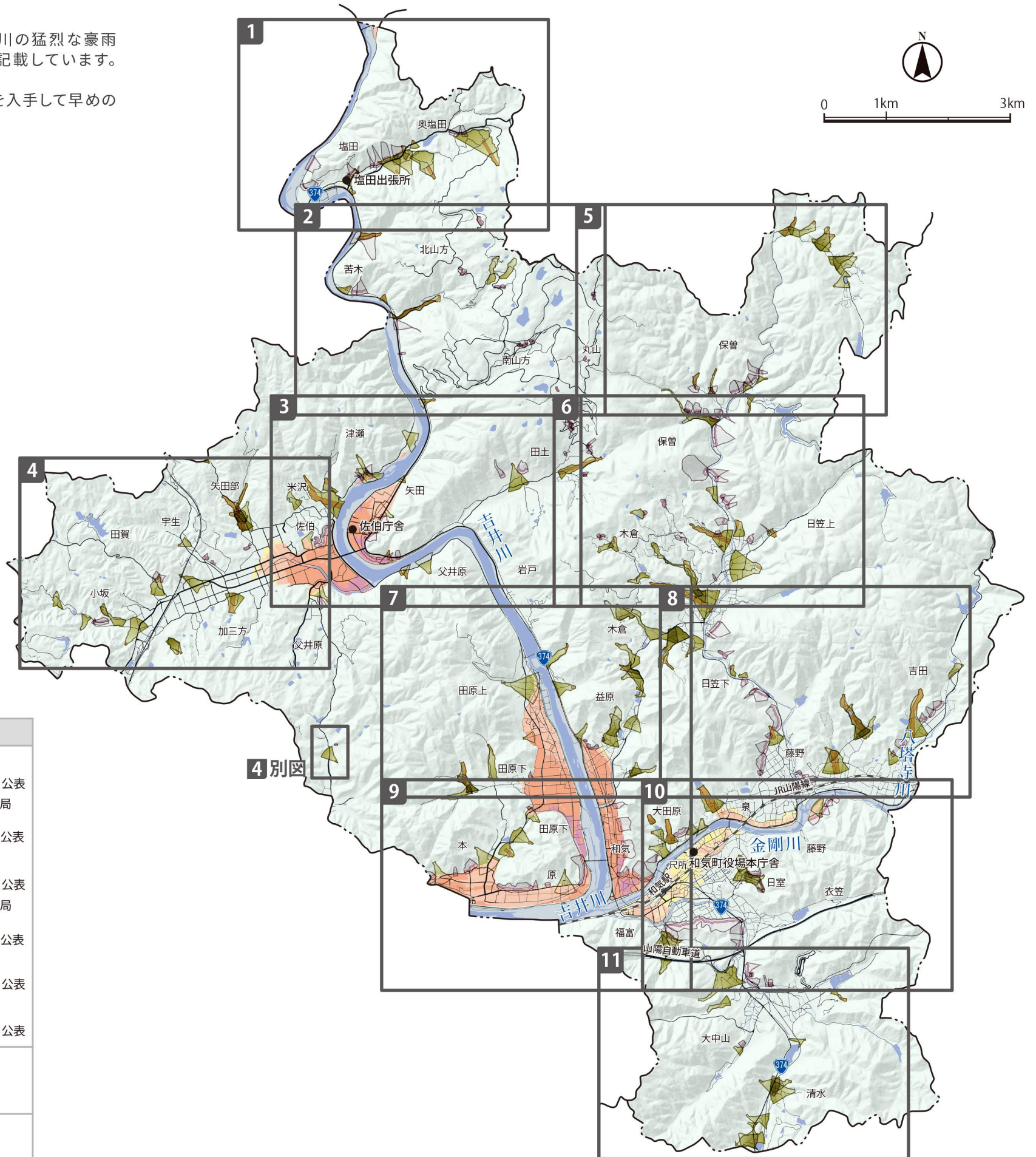
洪水/土砂災害ハザードマップについて

このハザードマップは、おもに土砂災害に関する情報と、吉井川、金剛川、吉野川、八塔寺川の猛烈な豪雨（計画規模の降雨）によって堤防が氾濫した場合に想定される浸水想定範囲と浸水の深さを記載しています。町内の他の河川の浸水範囲は記載していません。

ハザードマップに示されていない箇所でも災害が発生するおそれがありますので、正確な情報を入手して早めの避難を心掛けてください。

番号	佐伯地域	ページ
1	塩田、奥塩田	P.15
2	丸山、南山方、北山方、若木	P.17
3	津瀬、米沢、佐伯、父井原、矢田、岩戸、田土	P.19
4	父井原、矢田部、宇生、田賀、小坂、加三方	P.21

番号	和気地域	ページ
5	保曾	P.23
6	保曾、日笠上、木倉	P.25
7	木倉、益原、田原上、田原下	P.27
8	日笠下、藤野、吉田	P.29
9	福富、和気、田原下、原、本	P.31
10	泉、藤野、大田原、衣笠、尺所、日室	P.33
11	清水、大中山	P.35



このマップに掲載しているハザード情報

ハザード種別	提供元
浸水想定区域 以下に示す河川が、計画規模の降雨によって氾濫した場合の浸水状況を予測した区域 吉井川 吉井川流域の2日総雨量255mm(岡山県) 吉井川流域の2日総雨量270mm (国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所) 金剛川 金剛川流域の24時間総雨量295mm(岡山県) 金剛川流域の2日総雨量270mm (国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所) 吉野川 吉野川流域の24時間総雨量214mm(岡山県) 八塔寺川 八塔寺川流域の24時間総雨量295mm(岡山県)	吉井川 岡山県 令和3年10月2日公表 国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 令和2年3月30日公表 金剛川 岡山県 令和2年6月12日公表 国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 令和2年3月30日公表 吉野川 岡山県 平成30年3月16日公表 八塔寺川 岡山県 令和2年6月12日公表
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域で警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域 作成主体:岡山県 告示日:令和3年7月30日
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)	土砂災害警戒区域のなかでも、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域で一定の開発行為や居室を有する建築物の構造が規制されている土地の区域 作成主体:岡山県 告示日:令和3年7月30日

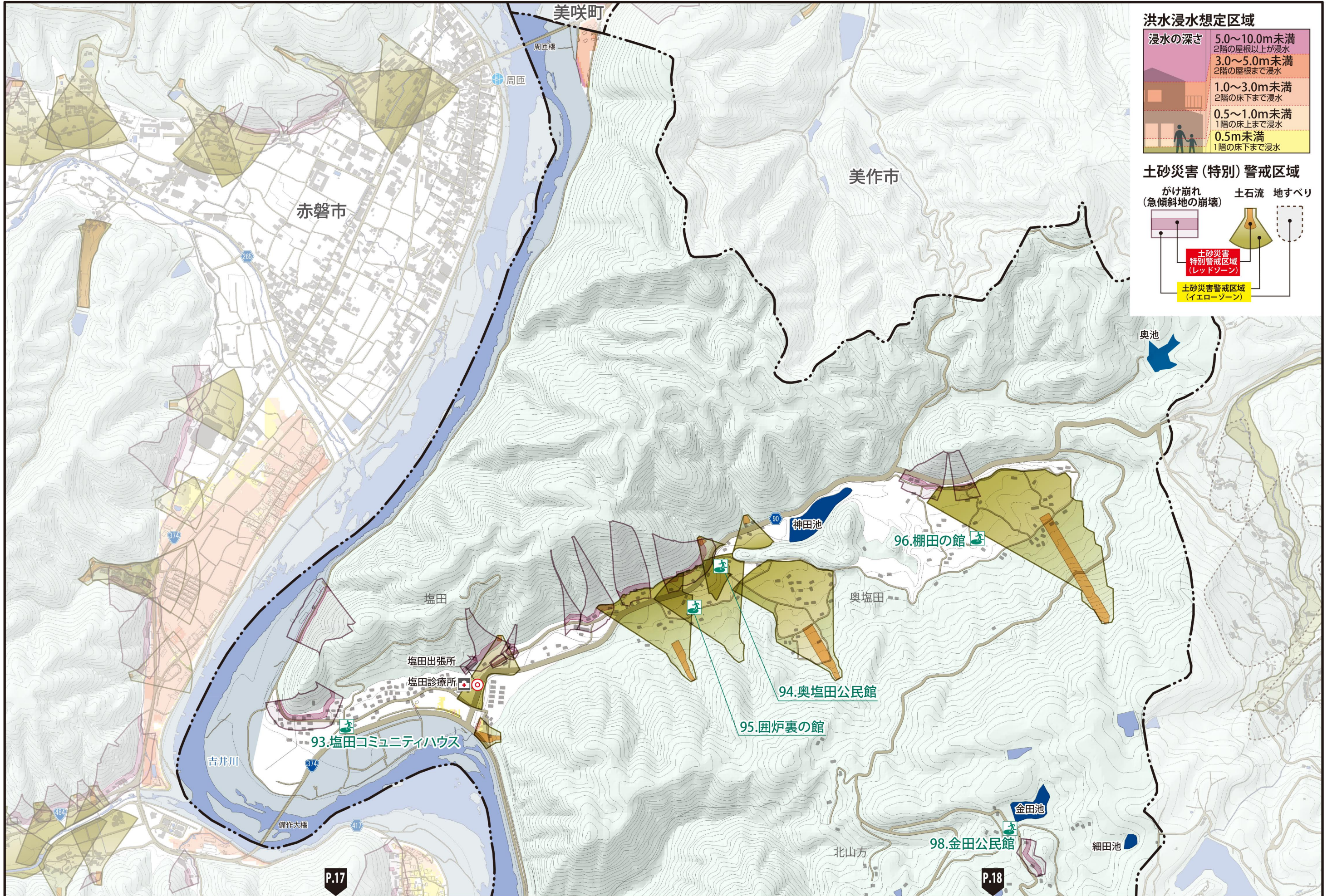
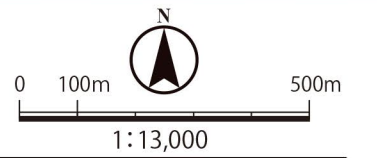
和気町ハザードマップ

1 佐伯地域①

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

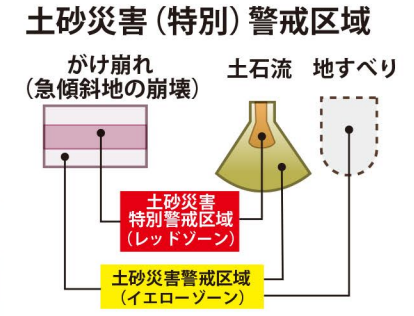
- 町役場・支所
- 警察
- 消防
- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0~10.0m未満	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満	2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満	1階の床下まで浸水
	0.5m未満	1階の床下まで浸水



地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

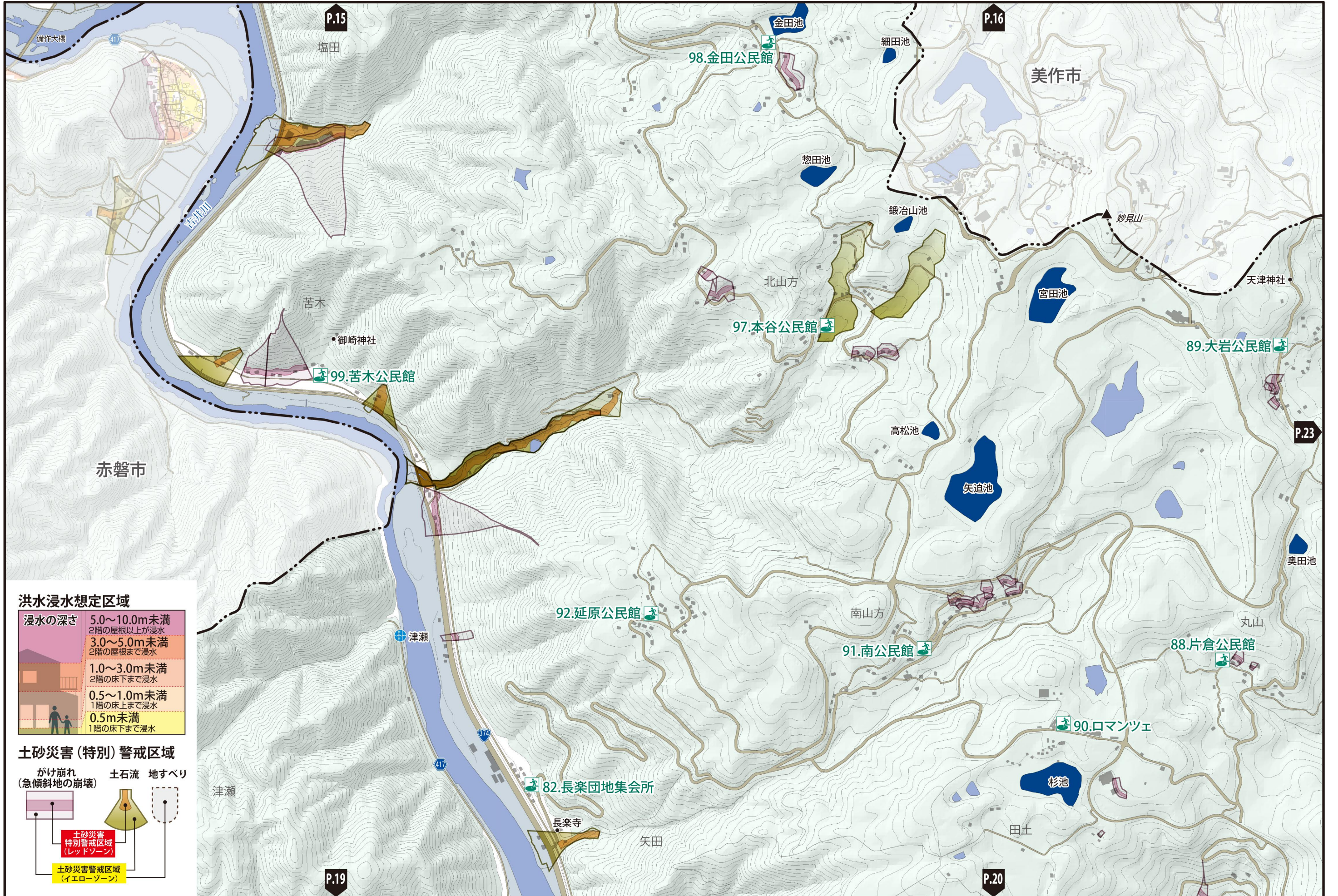
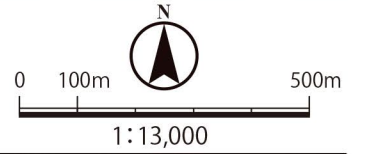
和気町ハザードマップ

2 佐伯地域②

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

- 町役場・支所
- 警察
- 消防
- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

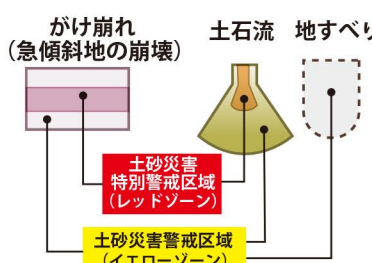
- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0~10.0m未満
	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満
	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満
	2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満
	1階の床下まで浸水
	0.5m未満
	1階の床下まで浸水

土砂災害(特別)警戒区域



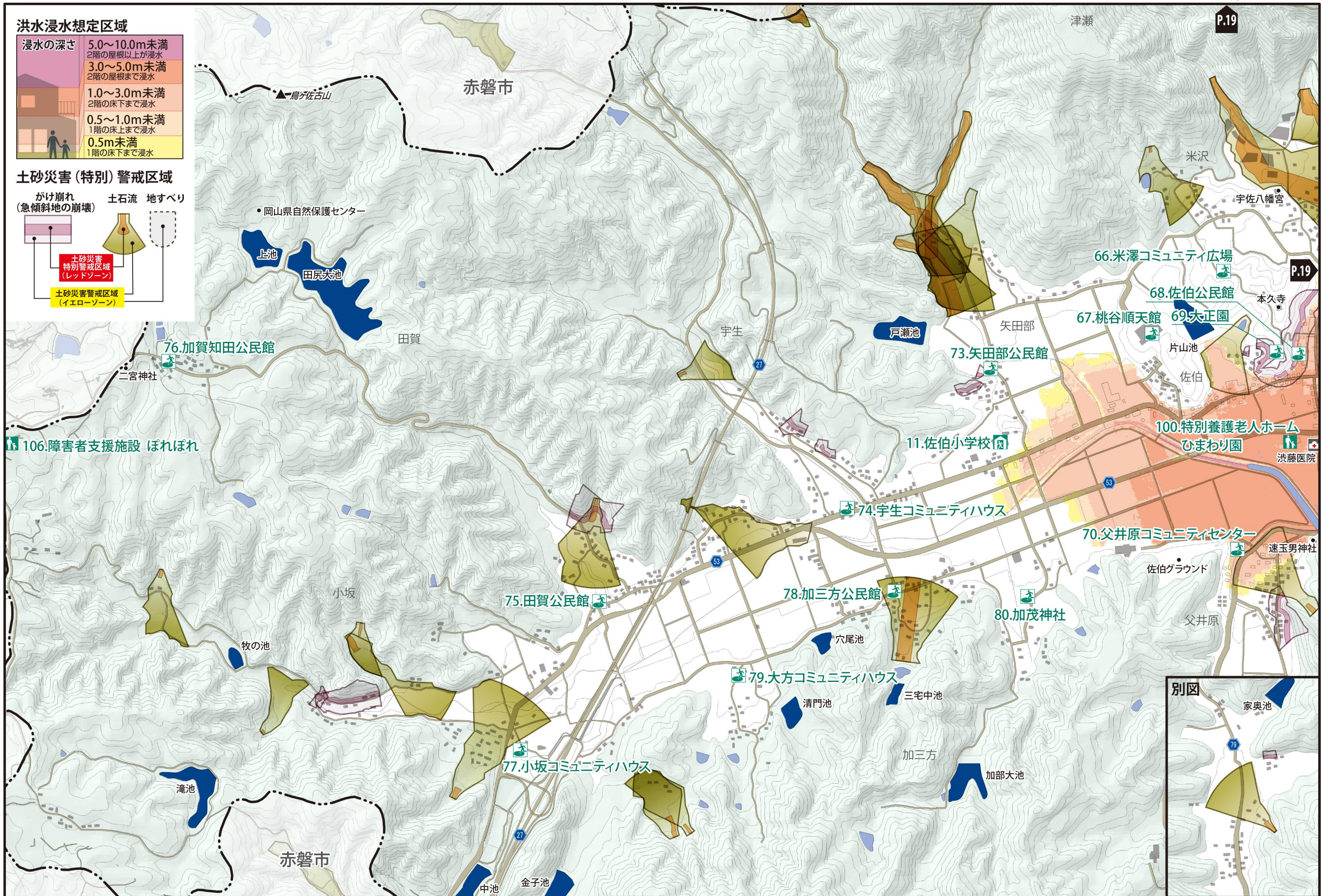
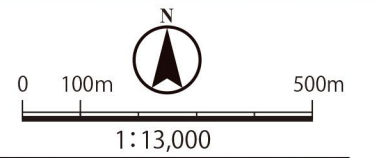
和気町ハザードマップ

4 佐伯地域④

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

- 町役場・支所
- 警察
- 消防
- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0~10.0m未満 2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満 2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満 2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満 1階の床下まで浸水
	0.5m未満 1階の床下まで浸水

土砂災害(特別)警戒区域

かけ崩れ(急傾斜地の崩壊) 土石流 地すべり

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)



地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン

和気町ハザードマップ

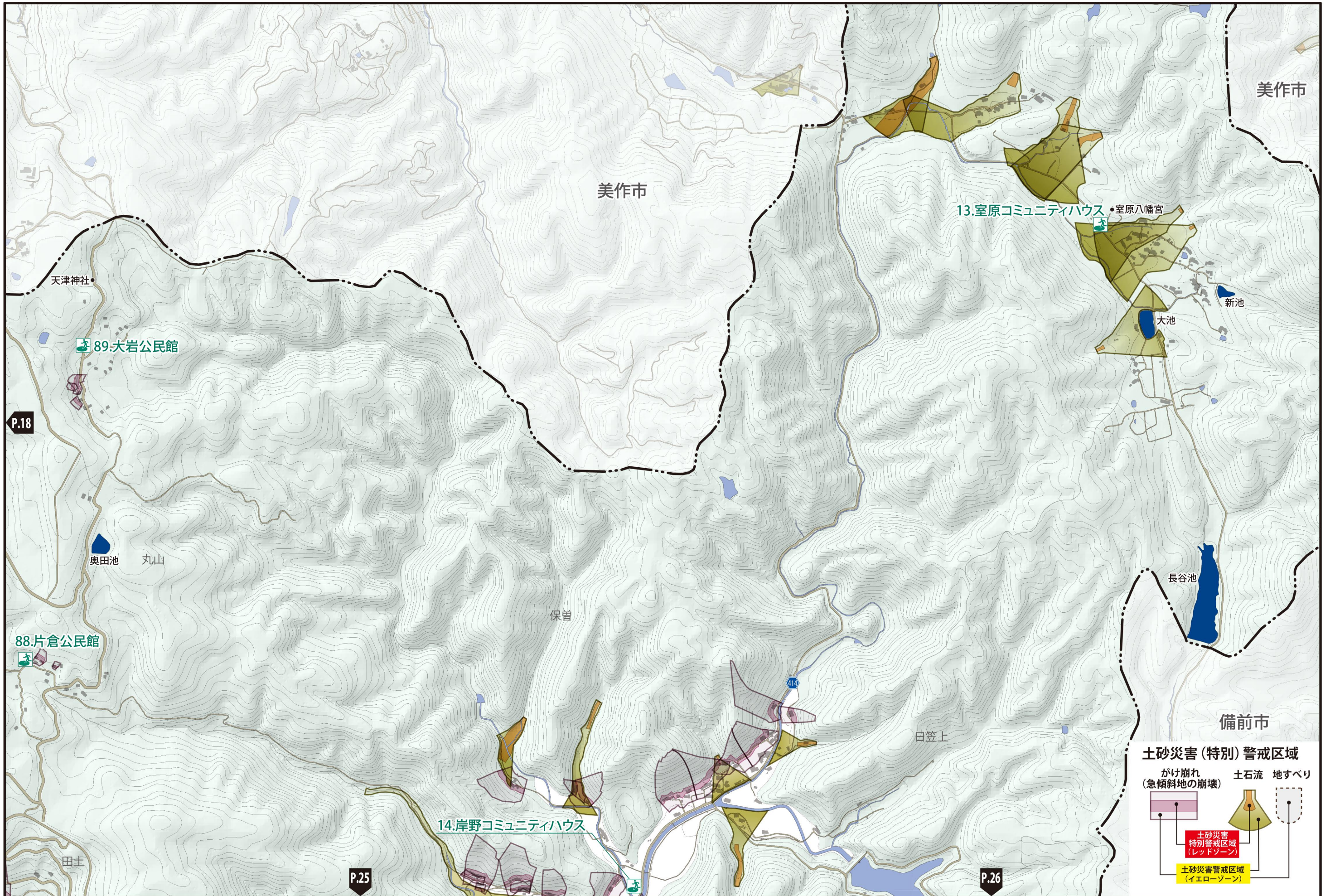
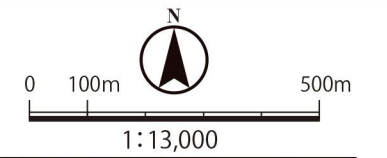
5 和気地域①

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

- 町役場・支所
- 警察
- 消防

- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

かけ崩れ (急傾斜地の崩壊) 土石流 地すべり

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

和気町ハザードマップ

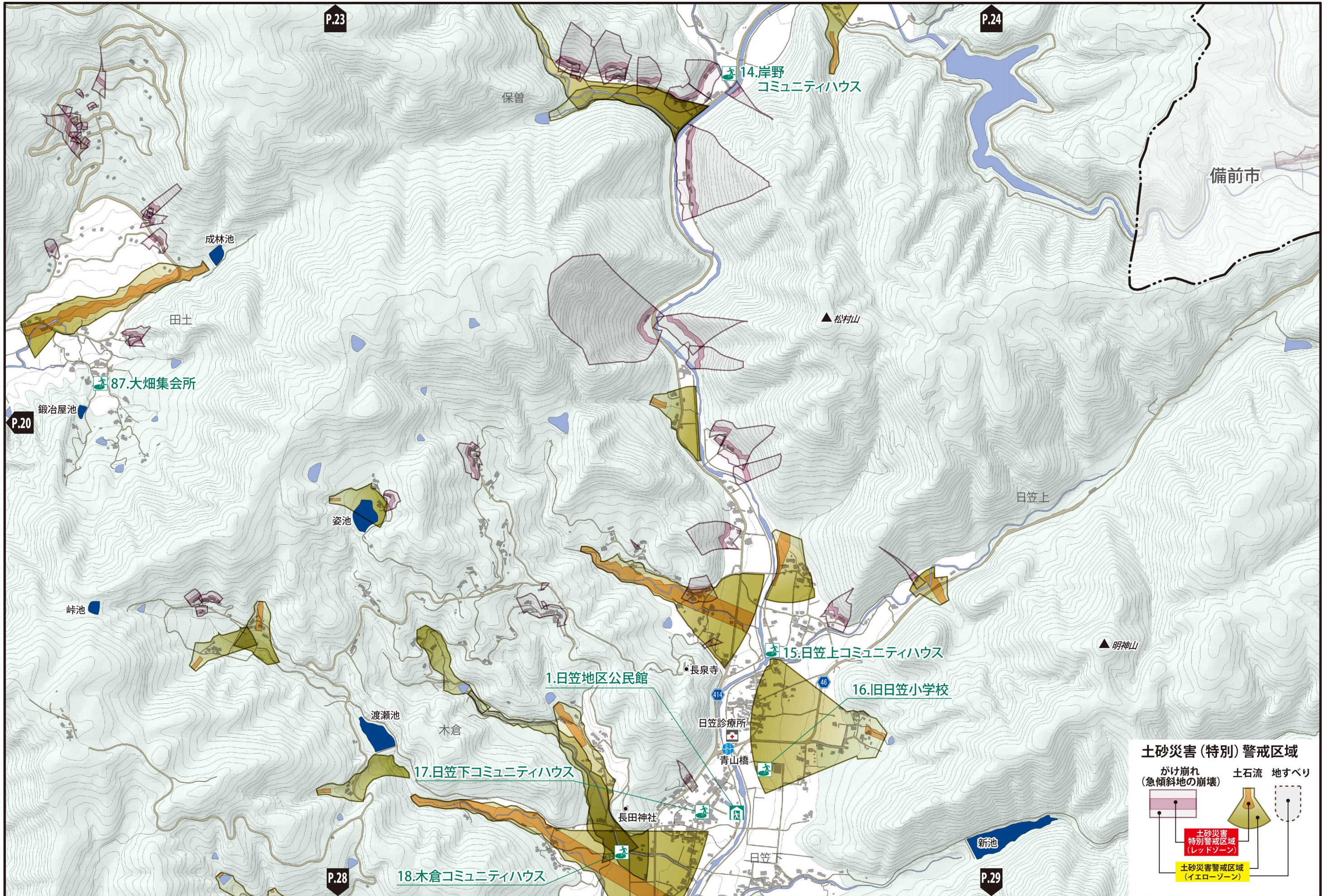
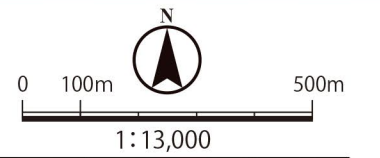
6 和気地域②

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

- 町役場・支所
- 警察
- 消防

- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

かけ崩れ (急傾斜地の崩壊) 土石流 地すべり

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

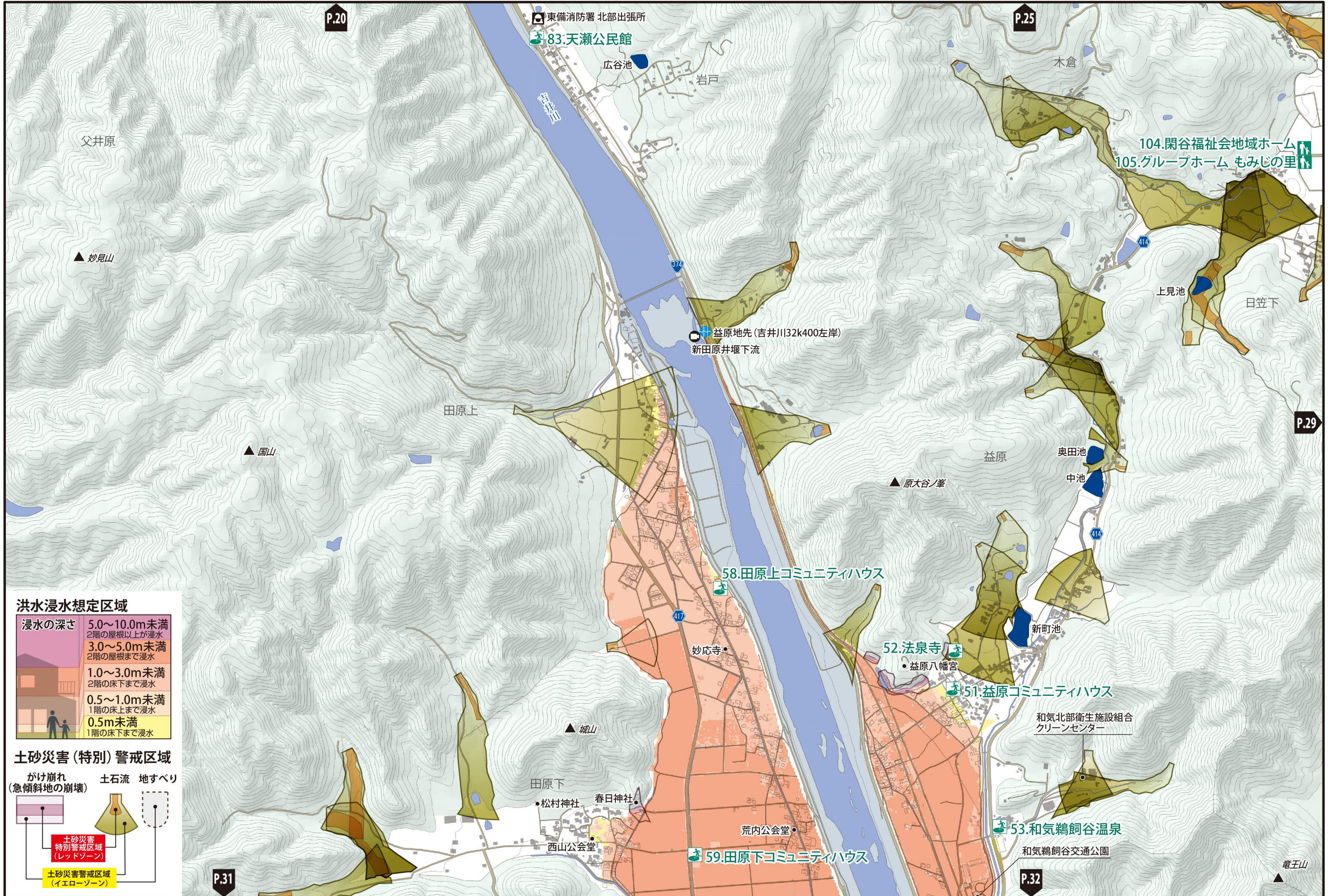
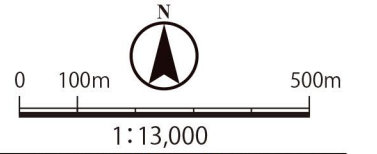
和気町ハザードマップ

7 和気地域③

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

- 町役場・支所
- 警察
- 消防
- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0~10.0m未満	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満	2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満	1階の床下まで浸水
	0.5m未満	1階の床下まで浸水

土砂災害(特別)警戒区域

かけ崩れ (急傾斜地の崩壊) 土石流 地すべり

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン

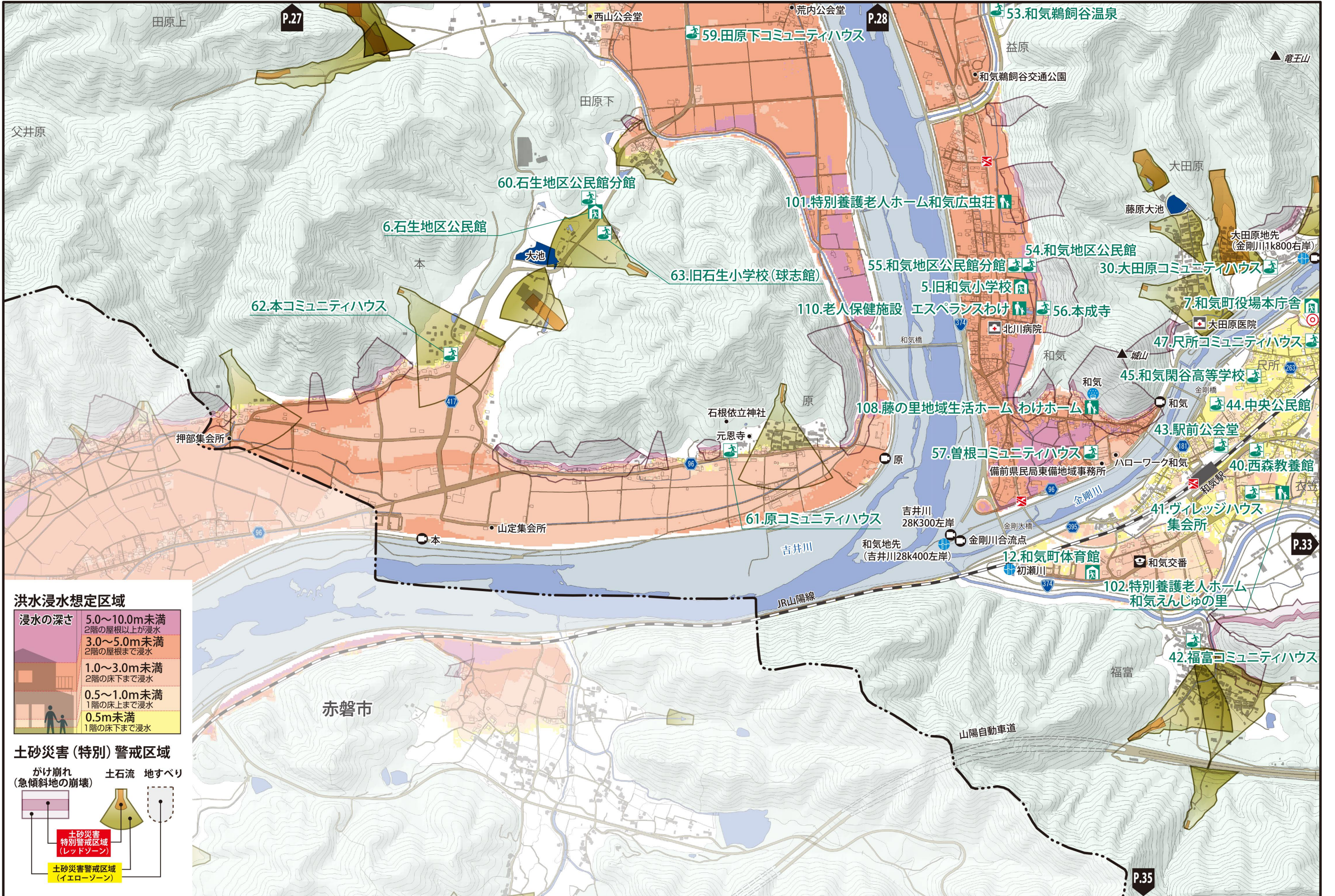
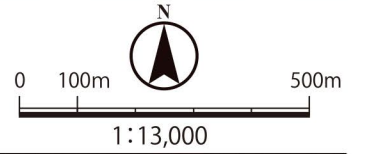
和気町ハザードマップ

9 和気地域⑤

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

- 町役場・支所
- 警察
- 消防
- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0~10.0m未満
	2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満
	2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満
	2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満
	1階の床下まで浸水
	0.5m未満
	1階の床下まで浸水

土砂災害(特別)警戒区域

かけ崩れ (急傾斜地の崩壊) 土石流 地すべり

土砂災害 特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン

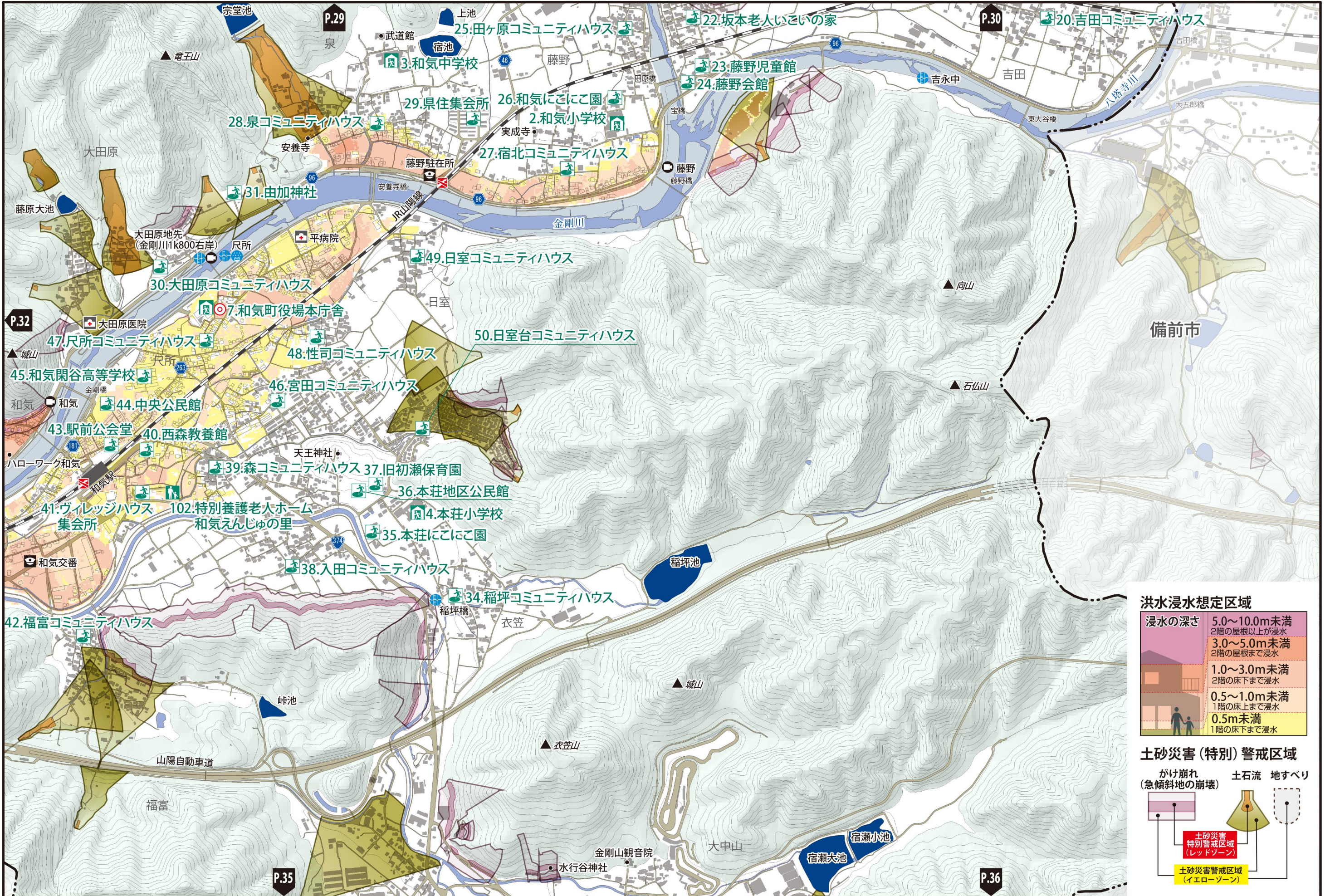
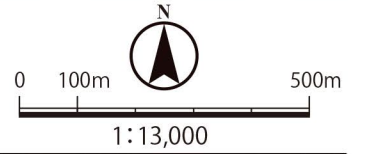
和気町ハザードマップ

10 和気地域⑥

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

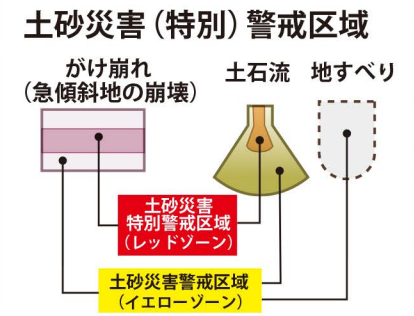
- 町役場・支所
- 警察
- 消防
- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



洪水浸水想定区域

浸水の深さ	5.0~10.0m未満 2階の屋根以上が浸水
	3.0~5.0m未満 2階の屋根まで浸水
	1.0~3.0m未満 2階の床下まで浸水
	0.5~1.0m未満 1階の床下まで浸水
	0.5m未満 1階の床下まで浸水



地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

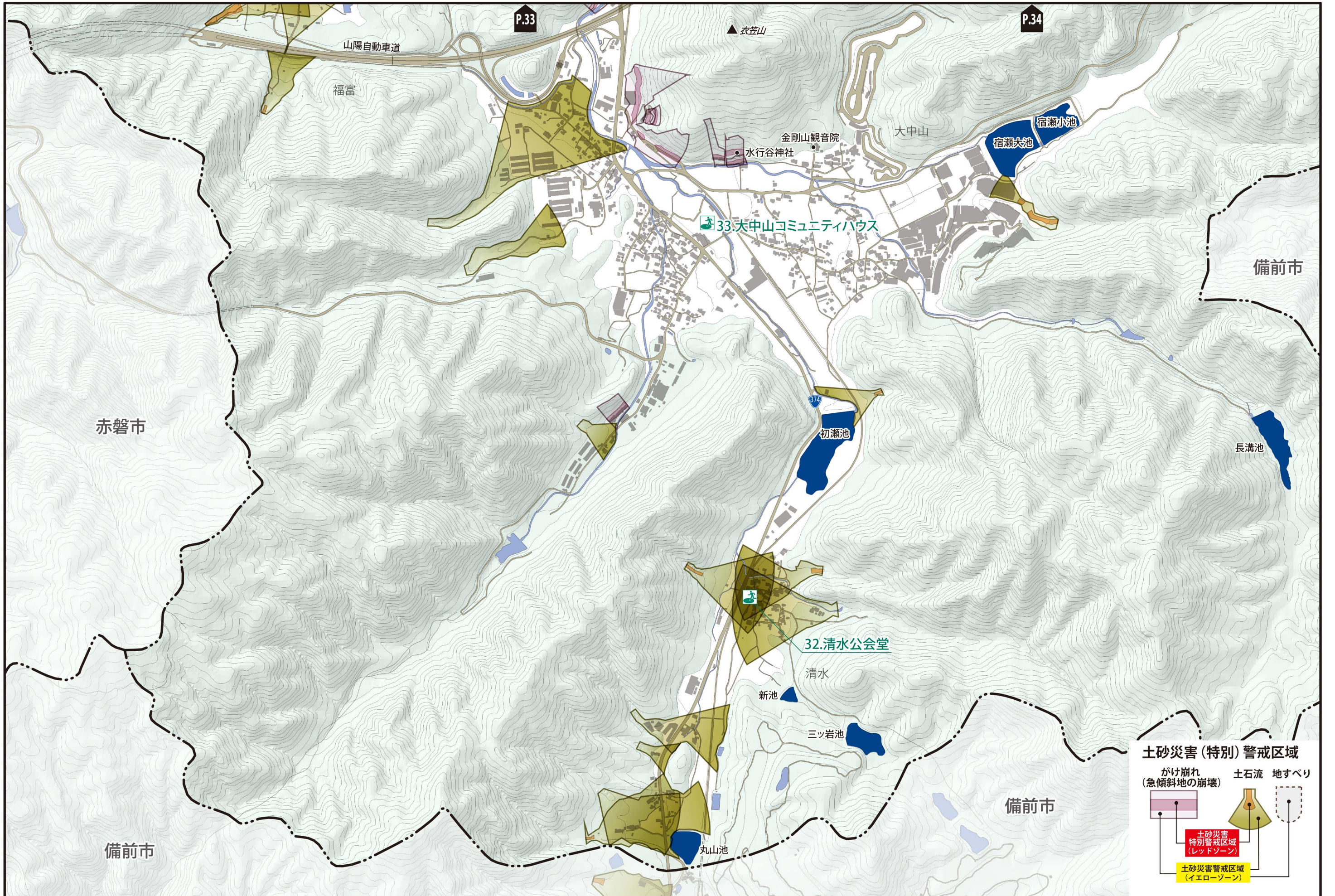
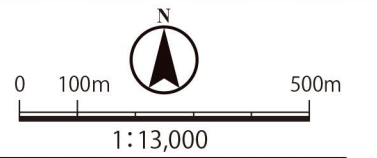
和気町ハザードマップ

11 和気地域⑦

- 指定緊急避難場所 兼 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所

- 町役場・支所
- 警察
- 消防
- 救急病院
- 防災重点ため池
- 水位観測所

- ライブカメラ
- 雨量観測所
- アンダーパス



土砂災害(特別)警戒区域

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊) 土石流 地すべり

土砂災害 特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン

地震
洪水
土砂災害
ハザードマップ
災害への備え
マイ・タイムライン



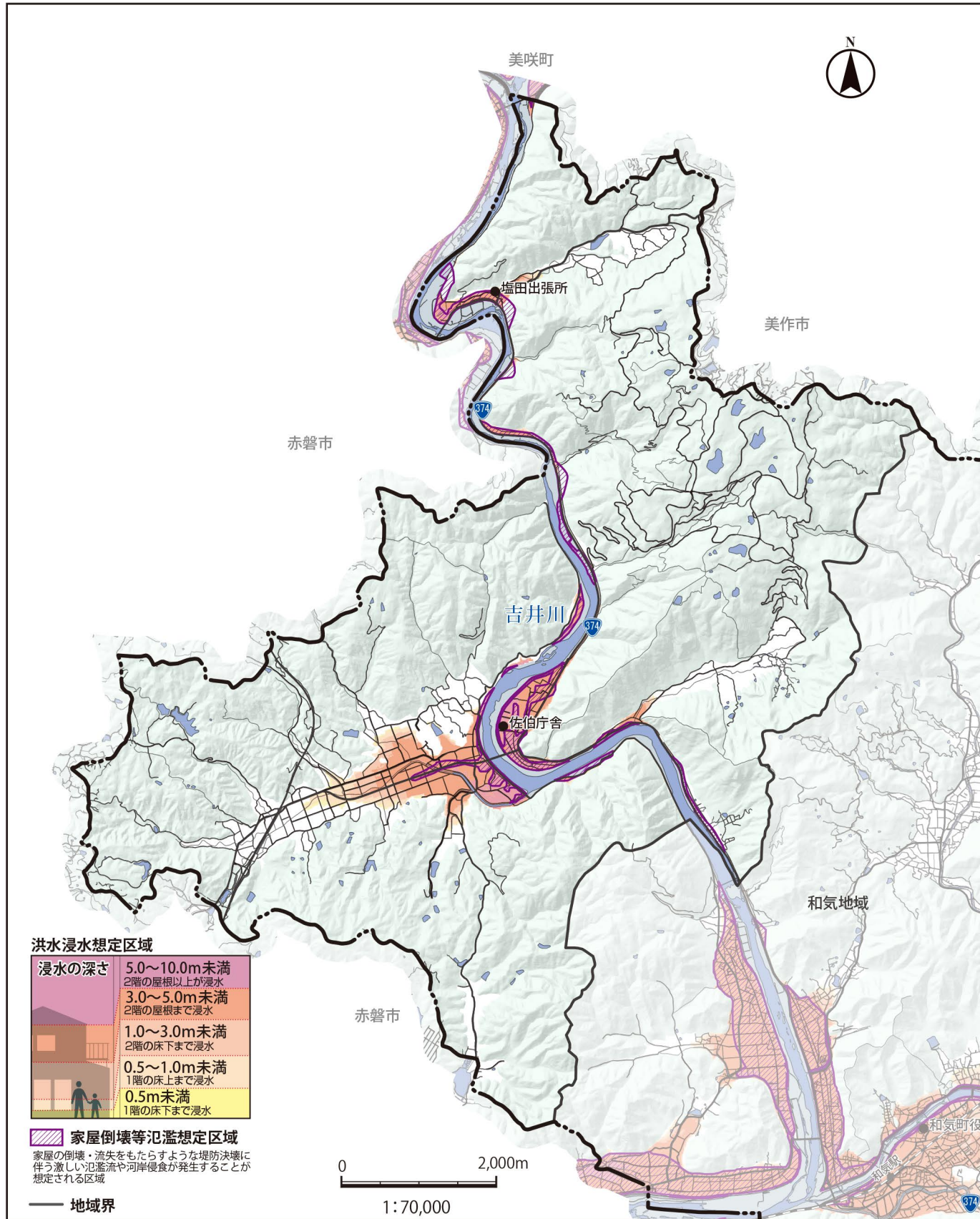
ハザードマップ 想定し得る最大規模の大雨に備えて

平成27年に「水防法」の一部が改正され、洪水予報河川及び水位周知河川では、新たに想定最大規模の降雨（概ね1000年に1回程度の大雨を想定）を対象とした洪水浸水想定区域の指定などが義務づけられました。

このマップは、吉井川、金剛川、吉野川、八塔寺川の想定最大規模の降雨によって堤防が決壊し、氾濫した場合に想定される浸水範囲と深さを記載しています。町内の他の河川の浸水範囲は記載していません。

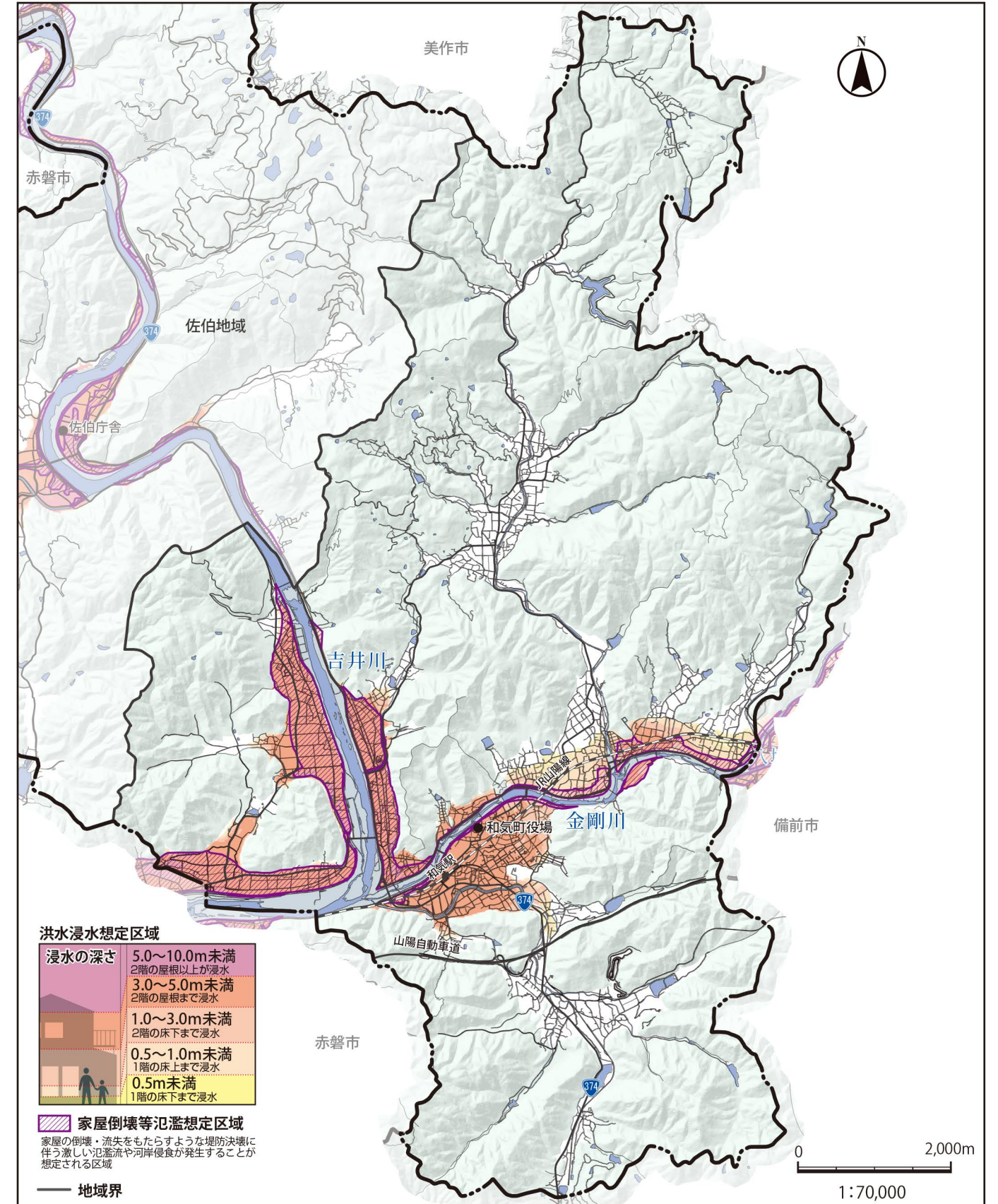
マップに示されていない箇所でも災害が発生するおそれがありますので、早めの避難を心掛けてください。

佐伯地域



ハザード種別		提供元	
吉井川	吉井川流域の48時間総雨量754mm	岡山県	令和3年10月1日公表
	吉井川流域の48時間総雨量744mm	国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所	令和2年3月30日公表
金剛川	金剛川流域の24時間総雨量688mm	岡山県	令和2年6月12日公表
	吉井川流域の48時間総雨量744mm	国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所	令和2年3月30日公表
吉野川	吉野川流域の24時間総雨量601mm	岡山県	平成30年3月16日公表
八塔寺川	八塔寺川流域の24時間総雨量718mm	岡山県	令和2年6月12日公表

和気地域





災害への備え 指定緊急避難場所・指定避難所一覧

指定緊急避難場所・指定避難所 事前に避難先を決めておこう！

指定緊急避難場所



指定緊急避難場所とは、命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れることを目的とした場所、施設です。

指定避難所



指定避難所とは、自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活を送ることを目的とした公共施設などです。

避難が必要になったときには、まず身近な「指定緊急避難場所」へ、その後は「指定避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるように心掛けましょう！

※災害時には、すべての避難所が開設されるわけではありません。町から送られる「緊急速報メール」や「音声告知端末」の放送などで開設されている避難所を確認してください。

指定緊急避難場所 兼 指定避難所

No.	名称	所在地	洪水	土砂	地震	収容人数		収容地区
						屋内	屋外	
1	日笠地区公民館	日笠上 86-1	○	○	○	63	-	日笠
2	和気小学校	藤野 429	○	○	○	260	-	藤野
3	和気中学校	泉 375-1	○	○	○	435	-	藤野
4	本荘小学校	衣笠 550	○	○	○	260	-	本荘
5	旧和気小学校	和気 199	3階以上	×	○	260	-	和気
6	石生地区公民館	本 1156	○	×	○	85	-	石生
7	和気町役場本庁舎	尺所 555	○	○	○	1,000	-	藤野 本荘
8	佐伯庁舎分館	矢田 308-1	3階以上	○	×	100	-	山田 塩田
9	佐伯老人福祉センター	矢田 311-1	×	○	×	100	-	山田 塩田
10	学び館「サエスタ」	父井原 430-1	3階以上	○	○	800	-	佐伯 昭和 塩田
11	佐伯小学校	米澤 713	○	○	○	100	-	佐伯 昭和
12	和気町体育館	福富 312-1	2階以上	○	○	400	-	本荘

指定緊急避難場所

No.	名称	所在地	洪水	土砂	地震	収容人数	
						屋内	屋外
13	室原コミュニティハウス	保曾 1023-3	○	×	×	20	-
14	岸野コミュニティハウス	保曾 420-2	○	○	×	30	-
15	日笠上コミュニティハウス	日笠上 905-3	○	○	○	20	-
16	旧日笠小学校	日笠上 222	○	×	○	243	-
17	日笠下コミュニティハウス	日笠上 86-1	○	○	○	50	-
18	木倉コミュニティハウス	日笠下 37-2	○	×	○	20	-
19	働コミュニティハウス	吉田 1883-2	○	×	×	30	-
20	吉田コミュニティハウス	吉田 1436-1	○	○	○	30	-
21	奴久谷・飼葉コミュニティハウス	吉田 186-1	○	×	○	40	-
22	坂本老人いこいの家	藤野 1623	○	○	×	20	-
23	藤野児童館	藤野 1725	○	○	○	50	-
24	藤野会館	藤野 1731	○	○	○	120	-
25	田ヶ原コミュニティハウス	藤野 771-1	○	○	×	30	-
26	和気ここにこ園	藤野 463	○	○	○	80	-
27	宿北コミュニティハウス	藤野 220	○	○	×	30	-
28	泉コミュニティハウス	泉 284-1	×	○	×	30	-
29	県住集会所	泉 250	○	○	×	30	-
30	大田原コミュニティハウス	大田原 87-3	○	○	×	30	-
31	由加神社	大田原 438	○	○	○	50	-
32	清水公会堂	清水 251-2	○	×	○	20	-
33	大中山コミュニティハウス	大中山 366	○	○	○	50	-
34	稲坪コミュニティハウス	衣笠 491-2	○	○	○	30	-
35	本荘ここにこ園	衣笠 570	○	○	○	100	-
36	本荘地区公民館	衣笠 603	○	○	○	142	-
37	旧初瀬保育園	衣笠 603	○	○	○	50	-
38	入田コミュニティハウス	衣笠 74-5	○	○	○	30	-
39	森コミュニティハウス	衣笠 766-2	○	○	○	30	-
40	西森教養館	衣笠 928-5	×	○	×	40	-
41	ヴィレッジハウス集会所	衣笠 831-2	2階以上	○	×	40	-
42	福富コミュニティハウス	福富 260-2	○	○	×	30	-
43	駅前公会堂	福富 621-1	2階以上	○	×	30	-
44	中央公民館	尺所 7-1	2階以上	○	○	97	-
45	和気開谷高等学校	尺所 15	2階以上	○	○	590	5,000
46	宮田コミュニティハウス	尺所 204	○	○	○	30	-
47	尺所コミュニティハウス	尺所 532	2階以上	○	×	50	-
48	性司コミュニティハウス	尺所 285-1	○	○	○	20	-

福祉避難所 福祉避難所の概要

福祉避難所



既存の建物を活用し、一般の避難所では生活に支障をきたす要配慮者に対するケアが行われ、何らかの特別な配慮がされた避難所のことをいいます。

利用対象者

食事、排泄、移動等の日常生活全般に介助が必要な在宅の方。

● 福祉避難所は、町が協定施設の被災状況や受け入れ態勢などを確認した後、必要に応じて開設される二次的な避難所であり、原則、ご自宅等から直接福祉避難所に避難することはできません。

No.	名称	所在地	洪水	土砂	地震	収容人数	
						屋内	屋外
49	日室コミュニティハウス	日室 48-1	○	○	○	30	-
50	日室台コミュニティハウス	日室 526-35	○	×	×	30	-
51	益原コミュニティハウス	益原 486-1	○	○	○	30	-
52	法泉寺	益原 466	○	×	○	70	-
53	和気鶴飼谷温泉	益原 666-1	○	○	○	40	-
54	和気地区公民館	和気 196	×	×	○	118	-
55	和気地区公民館分館	和気 204	×	○	○	50	-
56	本成寺	和気 53	×	×	○	70	-
57	曾根コミュニティハウス	和気 498	×	○	×	20	-
58	田原上コミュニティハウス	田原上 160-1	×	○	○	50	-
59	田原下コミュニティハウス	田原下 701-1	×	○	○	50	-
60	石生地区公民館分館	田原下 1518	○	○	○	50	-
61	原コミュニティハウス	原 305	○	○	○	20	-
62	本コミュニティハウス	本 617-4	○	×	○	50	-
63	旧石生小学校（球志館）	本 727-2	○	×	○	260	-
64	津瀬公民館	津瀬 134	○	○	×	15	-
65	米澤公民館	米澤 181-2	○	○	×	50	-
66	米澤コミュニティ広場	佐伯 486-1	×	○	○	-	200
67	桃谷順天館	米澤 629-1	○	○	○	-	200
68	佐伯公民館	佐伯 409-1	2階以上	×	×	50	-
69	大正園	佐伯 467	×	×	○	-	300
70	父井原コミュニティセンター	父井原 761-2	×	○	○	40	-
71	原コミュニティハウス	父井原 294-2	×	○	○	20	-
72	小原コミュニティハウス	父井原 2041-2	○	×	○	15	-
73	矢田部公民館	矢田部 383-2	○	○	○	30	-
74	宇生コミュニティハウス	宇生 312	○	○	○	40	-
75	田賀公民館	田賀 259-3	○	○	○	20	-
76	加賀知田公民館	田賀 1013	○	○	○	20	-
77	小坂コミュニティハウス	小坂 560-2	○	○	○	40	-
78	加三方公民館	加三方 509-4	○	×	×	30	-
79	大方コミュニティハウス	加三方 797-1	○	○	×	15	-
80	加茂神社	加三方 205	○	○	○	10	50
81	矢田公民館	矢田 509	×	×	○	50	-
82	長楽団地集会所	矢田 980-1	○	○	○	30	-
83	天瀬公民館	岩戸 87-1	○	○	○	30	-
84	旧山田小学校	岩戸 799	○	○	○	300	-
85	下田土公民館	田土 2044	○	×	×	30	-
86	田土消防機庫	田土 1745-3	○	×	×	10	-

No.	名称	所在地	洪水	土砂	地震	収容人数	
						屋内	屋外
87	大畑集会所	田土 704	○	○	×	10	-
88	片倉公民館	丸山 26-1	○	○	×	10	-
89	大岩公民館	丸山 580-1	○	○	×	10	-
90	ロマンツェ	南山方 144-15	○	○	○	100	-
91	南公民館	南山方 376-2	○	○	×	30	-
92	延原公民館	南山方 855	○	○	×	15	-
93	塩田コミュニティハウス	塩田 113-11	○	○	○	30	-
94	奥塩田公民館	奥塩田 1727-2	○	×	○	30	-
95	田舎裏の館	奥塩田 1860-3	○	×	○	20	-
96	棚田の館	奥塩田 953-2	○	○	○	20	-
97	本谷公民館	北山方 2060-1	○	×	×	30	-
98	金田公民館	北山方 601-3	○	○	×	20	-
99	苦木公民館	苦木 299-2	○	○	×	20	-

福祉避難所

No.	名称	所在地
100	特別養護老人ホームひまわり園	佐伯 158
101	特別養護老人ホーム和気広虫荘	和気 108
102	特別養護老人ホーム和気えんじゅの里	衣笠 834-1
103	障害者支援施設 しずたに	日笠下 1613-5
104	関谷福祉会地域ホーム	日笠下 513-1
105	グループホーム もみじの里	日笠下 631
106	障害者支援施設 ぼれぼれ	小坂 1273-7
107	藤工房 生活介護棟	藤野 1025-2
108	藤の里地域生活ホーム わけホーム	和気 430-2
109	養護老人ホーム 藤見苑	藤野 1025
110	老人保健施設 エスペランスわけ	和気 277



災害への備え 避難所での過ごし方

避難所での過ごし方・ルール

貴重品は常に携帯しましょう

過去の災害では、避難所での盗難が発生しています。貴重品は必ず持ち歩きましょう。



プライバシーを守りましょう

他人の荷物などを勝手に触ったり、のぞいたりしないようにしましょう。



暑さ / 寒さ対策をしましょう

停電などで空調が使用できない場合に備えて、うちわや扇子、薄い毛布(ブランケット)などを用意しておきましょう。



協力して避難所運営を行いましょう

- 避難所マニュアルに従った秩序ある避難所運営を行う。
- 住民どうしの役割分担、要配慮者への支援をする。
- 助け合いの心を持ち、協力し合う。



避難所内での感染症拡大を防ぐために...

必ずマスクを着用しましょう

避難所内での感染症拡大を防ぐために、必ずマスクを着用しましょう。体調がすぐれない方は受付時に係員へ申し出てください。



ソーシャルディスタンスを保ちましょう

避難所では、密を避け、他の人との間隔をあけるように心掛けましょう。



- **三密防止対策が必要です。**
- **人数制限の可能性があります。**

こまめに消毒をしましょう

ほとんどの場所が、たくさんの人の手が触れる共有スペースです。自分の生活スペースに戻る前に必ず消毒をしましょう。



避難所でのルールを守り、秩序を保って過ごしましょう! (下の図はイメージです。)



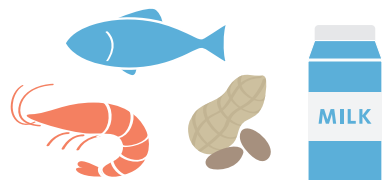
避難所ルール厳守

共同生活の場です。騒いだり、自分勝手な行動はやめ、ルールを守りましょう。



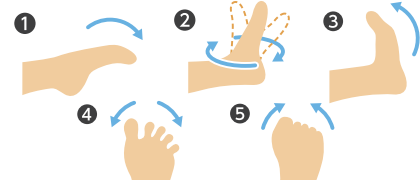
食物アレルギーに注意!

配給食料の中にはアレルギー対応していないものもあります。食品表示をよく確認するとともに、不安な時は避難所係員に聞いてください。



適度な運動を!

長時間同じ姿勢でいると、エコノミー症候群になる場合があります。定期的な立ち上がり、ストレッチをするなど、適度な運動を心掛けましょう。



要配慮者への協力

高齢者・乳幼児・傷病者・外国人の方には

高齢者や乳幼児は、手をつなぐ、背負うなどによりしっかりと援護します。傷病者には複数人で対応しましょう。急を要するときはひも等を使って背負うなどして、周囲の方が協力して援護しましょう。外国人の方で言葉が通じない場合には、声をかけて身振り手振りを交えて誘導しましょう。



目の不自由な人には

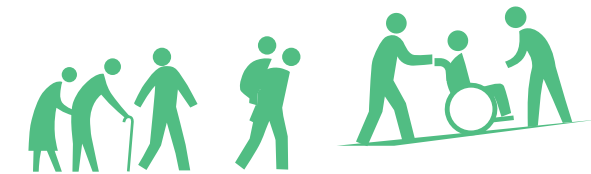
「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で。誘導するときは、杖を持っていないほうのひじのあたりを軽く触れるか、腕をかして、半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。

視覚障がい者の安全やバリアフリーを考慮した建物・設備・機器に表示する世界共通のマークです。視覚障がい者の利用への配慮について、ご理解、ご協力をお願いします。



からだの不自由な人には

それぞれの人に適した誘導方法を確認しましょう。車椅子の場合は、必ず複数人で協力し、スロープを上がる時は前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



耳の不自由な人には

話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。口頭でわからないようであれば、紙とペンで筆談しましょう。紙やペンがなければ、相手の手のひらに字を書いて筆談しましょう。

このマークの呼び方は「耳マーク」。聴覚に障がいがある方は、見た目では不自由があることが分かりづらいため、このマークを見かけたら十分配慮しましょう。



授乳スペース 更衣スペース

女性への配慮

女性が避難所であるべくストレスなく過ごせるように、就寝場所や専用スペース等を巡回警備するなど、安全・安心への配慮が重要です。(女性用品の配布方法にも配慮が必要です)

災害対応力を強化する女性の視点 ~男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン~
<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/guideline.html>

ペットも同行避難

ペットと一緒に避難

和気町が指定する避難所では、ペットを連れて避難できますが、衛生管理上、基本的に屋外での飼育となります。アレルギーなどがある避難者の方もいますので、周囲の方への十分な配慮をお願いします。



ペット用避難用具

ケージは必ず持参していただくとともに、日頃からケージに慣れさせておいてください。また、町ではペット用品の備蓄はしていません。ペット用品(食料等)は飼い主の方が持参してください。





災害への備え 非常持出品、備蓄品/災害情報の入手先

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。
非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように日頃から備えておきましょう。

枕元に置いておきたいもの

- 運動靴(底が厚いもの)
- 懐中電灯・ヘッドライト
- 携帯電話・スマートフォン
- 非常持出袋(リュックサックなど)
- 防寒着
- タオル・毛布

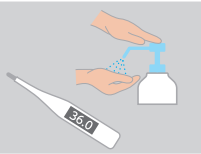


非常持出袋に入れておくもの

- 貴重品：財布・現金、通帳、印鑑、健康保険証(コピーでも可)など
- 常備薬・救急セット(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ビニール袋・ゴミ袋
- マスク
- 軍手
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 携帯ラジオ
- 電池・充電器類
- 筆記具(油性ペン)
- 着替え(下着・靴下)
- 飲料水
- 食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)

感染症対策として備えておきたいもの(自宅を離れる場合)

- マスク
- アルコール消毒液
- 除菌シート
- 体温計
- 使い捨てビニール手袋
- スリッパ



あると便利なもの

- 防災ずきん・ヘルメット
- 防寒具・雨具
- めがね・コンタクトレンズ
- 使い捨てカイロ
- 工具
- 簡易食器(割り箸・紙皿)
- 料理用ラップ
- マッチ・ライター
- 携帯トイレ
- 生理用品
- 折りたたみ椅子



食料・飲料などの備蓄(最低3日間、推奨1週間)

- 電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から「3日間分」の飲料水や保存のきく食料などを備蓄しておきましょう。
- 食料(3日分以上の食料) 缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- 飲料水3日分(1人1日3リットルが目安)
- トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ、缶切り、ラップなど

※ 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。
※ 飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。
日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておくなどの備えをしておきましょう。



被災時に備える「ローリングストック法」

防災のために特別なものを用意するのではなく、普段からちよっと多めに食材やレトルト食品を買い置きし、食べた分を買い足し、備蓄していく「ローリングストック法」により、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として活用できます。

ローリングストック法で覚えておきたい3つのポイント

- 1 ストックするのは「食べなれた食品」
- 2 備蓄した食品は普段から食べる
- 3 食べた分は早めに補充する



災害情報の伝達方法と入手先

災害に関する情報は、次のような手段で入手することができます。
あらかじめ登録やアクセスの確認を行っておき、いざという時にスムーズに情報を入手できるようにしておきましょう。

データ放送

デジタルテレビを視聴中にリモコンのdボタンを押すことで情報を取得することができます。平常時はイベント情報や行政情報を、災害発生時は防災情報(主に開設中の避難所などのお知らせ)を配信します。

データ放送の確認方法

- 1 テレビの場合は、リモコンの「dボタン」を押す。スマホの場合は、**d**アイコンをタップ。
- 2 メニューから見たい情報を選ぶ。



地震や津波、噴火などが起きた際には、災害情報や避難所情報、交通やライフラインについての情報などもデータ放送画面で見ることができます。ワンセグのデータ放送はインターネットなど通信に障害が発生した時にも見ることができます。

緊急速報メール

携帯電話事業者が無料で提供するサービス(事前登録不要)で、災害・避難情報など回線混雑の影響なく、町内の対応端末(スマートフォン・携帯電話)に一斉配信するものです。

屋外スピーカー

町民のみなさんに災害情報などをいち早くお伝えするためのものです。



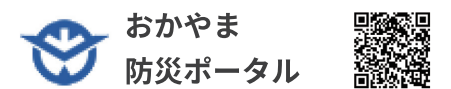
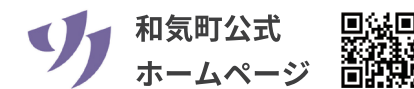
無線音声告知端末

和気町では、町からのお知らせ等を聞くことのできる「無線音声告知端末」を各家庭に1台、無償で貸し出しています。災害時には、災害等に関するお知らせや、避難情報などが放送されます。



キキクル(危険度分布)

この雨大丈夫? そんな時は気象庁ホームページ『キキクル』で確認。雨による災害の危険度を地図上にリアルタイムで確認できます。雨による災害の危険度は10分ごとに更新されます。

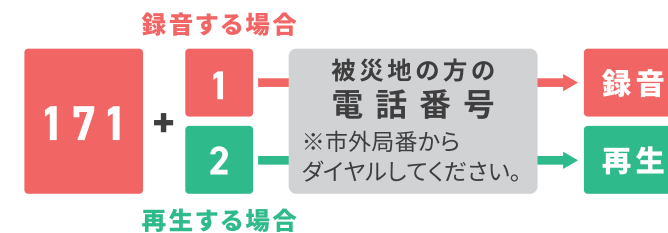


災害時の連絡方法

災害時は、被災地への電話が繋がりにくくなります。災害伝言ダイヤル「171」、災害伝言版「web171」を利用することにより、自身の安否情報の登録、家族や友人などの安否情報を声や文字により確認することができます。

災害用伝言「171」ダイヤル

ガイダンスに沿って録音、再生してください。



災害用伝言板 web171

インターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する伝言板です。

- 1 <https://www.web171.jp> または「web171」で検索
- 2 伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力
- 3 説明に従い登録/確認





マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは？

台風接近などによって河川の水位が上昇した場合や大雨等により土砂災害が発生しそうな場合などに、一人ひとりがとる防災行動について、「いつ」「だれが」「なにをするのか」を整理した個人の防災計画です。
あらかじめ災害時の自分の行動をシミュレーションしておくことで、急な判断が迫られる災害時に、自分自身の行動のチェックや、避難の判断をサポートするツールとして役立てることができます。

わが家の災害リスク
浸水想定

わが家の緊急避難場所

m ~ m

土砂災害

家族の集合場所

土砂災害警戒区域

土砂災害特別警戒区域

家

マイ・タイムライン

【 年 月 日作成】

住民の皆さんのとるべき行動

いつ				だれが		なにをするのか			住民の皆さんのとるべき行動
周囲の状況	警戒レベル	気象情報 避難情報	行動目安	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	なまえ	
台風が発生 自分がある所で降っていないくても、上流で雨が降れば川の水は増えてくる 台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる 雨が集まって、川の水がだんだん増える	警戒レベル 1	早期注意情報 (気象庁が発表)	大雨になるまでに					※記入例	<ul style="list-style-type: none"> 最新の気象情報等入手する。 備蓄品など防災グッズの確認。
水防団待機水位到達 吉井川 (津瀬) 5.00 m (佐伯) 2.80 m 金剛川 (尺所) 2.00 m (吉永中) 1.70 m 氾濫注意水位到達 吉井川 (津瀬) 6.40 m (佐伯) 5.00 m 金剛川 (尺所) 3.00 m (吉永中) 2.10 m	警戒レベル 2	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発表)	避難前に確認すること						<ul style="list-style-type: none"> 非常用持出袋を準備 避難方法を確認 貴重品を管理
避難判断水位到達 吉井川 (津瀬) 8.50 m (佐伯) 6.60 m 金剛川 (尺所) 3.10 m (吉永中) 2.80 m	警戒レベル 3	高齢者等避難 大雨・洪水警報 (和気町が発令) (気象庁が発表)	避難する時に注意すること						<ul style="list-style-type: none"> (高齢者等) 避難所へ移動 近隣の要配慮者へ声掛け <p>高齢者・乳幼児や、避難に時間がかかったり補助が必要な人</p>
氾濫危険水位到達 吉井川 (津瀬) 9.60 m (佐伯) 8.80 m 金剛川 (尺所) 3.40 m (吉永中) 3.30 m	警戒レベル 4	避難指示 土砂災害警戒情報 (和気町が発令) (岡山県・気象庁が発表)							<ul style="list-style-type: none"> 避難所へ移動する 自宅で避難する場合、安全な部屋へ移動する
氾濫が発生	警戒レベル 5	緊急安全確保 大雨特別警報 (和気町が発令) (気象庁が発表) ※「緊急安全確保」については、気象状況によって発令しないこともあります。	ここまで必ず安全確保行動を終える						<ul style="list-style-type: none"> 立退き避難が難しい場合は、垂直避難など少しでも命が助かる避難行動をとる。

ここまで必ず安全確保行動を終える

浸水想定が3mを超えるところは、事前に決めている避難場所へ移動

すでに災害が発生している状況

命を守るための最善の行動を取ってください

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン

地震

洪水

土砂災害

ハザードマップ

災害への備え

マイ・タイムライン